

HDMI マーキングユニット

KMU-6000



本書は、本機の機能や使い方などを説明している「Web 取扱説明書」です。目次から知りたい情報を探して、本機をご活用ください。

商標

HDMI, High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他 の国におけるHDMI Licensing Administrator, Incの商標または、登録商標です。 その他すべての各種名称、会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。

免責事項及び注意事項

本製品を使用したことによるお客様の損害、または、第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。権利者の許諾を得ることなく取扱説明書の内容の全部、または、一部を複製することは、法令上認められている場合を除き禁止されています。

本取扱説明書に記載の全ての情報は予告なしに本取扱説明書に記載した製品、または、仕様を変更することがあります。

最終更新日：2025-10-1

目次

表紙

安全上のご注意

製品概要

商品構成

機器の接続

各部の名称と働き

LEDの表示状態について

描画機能について

ツールメニューについて

映像入力について

映像出力について

映像表示について

設定メニューの操作

本体情報ページ

入力映像情報ページ

出力先情報ページ

出力解像度設定ページ

出力信号設定ページ

EDID設定ページ

表示設定ページ

カラー設定ページ

その他の設定ページ

設定リセットページ

設定ツールについて

モードスイッチの設定

故障かな？と思ったときは

製品仕様

オプション製品

製品保証

お問い合わせ先

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。記載事項をお守りください。

■安全のためにはかならず守ること

電源は必ず製品仕様の範囲内でご使用ください。電圧や定格が異なると、感電や火災の原因になります。タコ足配線はしないでください。また、アース線は絶対にガス管につながないでください。過熱・発火の原因になることがあります。

電源プラグは、濡れた手で抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。

電源コードを傷つけたり、加工・加熱したりしないでください。また、電源コードに重いものを乗せないでください。火災や感電の原因になります。

本システムの機器を、修理・分解・移設しないでください。火災の原因になったり、感電したりする恐れがあります。修理・調整は当社窓口にご相談ください。

異臭（こげ臭いなど）や異常な音がしたら、ただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災の原因になります。ただちに使用を中止し、修理を依頼してください。

電源スイッチが入ったままの状態、電源コードを抜き差ししないでください。火災の原因になることがあります。

■機器の取り扱いについて

本システムの機器を次の場所に設置しないでください。

- 極端に高温または低温になる場所
- 極端に湿度が高くなる場所
- 水などがかかる恐れのある場所
- 直射日光の当たる場所
- ほこりの多い場所
- 振動する場所、水平でない場所
- 不安定な場所

故障事故の原因になります。

本システムの機器の上に腰掛けたり、設置上許される機材以外のものを置いたりしないでください。また、水などをこぼさないでください。故障や感電、火災の原因になるほか、転倒して怪我をする恐れがあります。

本システムの機器のコネクタには、規定のケーブル以外のものを使用しないでください。またコネクタに異物を挿入しないでください。故障の原因になります。

本システムの機器をベンジン、シンナーなどの薬品で拭かないでください。変形・変色することがあります。

本システム機器をご使用中にプログラムおよびデータなどが消失した場合でも、プログラムおよびデータなどの保証は一切いたしかねます。故障に備えてバックアップをお取りください。

本システムの機器は、人命に関わる設備や機器、または高度な信頼性を必要とする設備や機器への使用、および組込んでの使用を意図しておりません。これらの設備や機器に本システム機器をご使用され、本システム機器の故障により事故、火災、損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。

■設置作業について

機器の設置を行うときは、必ず電源コードを抜いてください。

必ずアース処理を行ってください。

メンテナンス性を考慮し、ケーブル類は機器が十分引き出せる余裕を持って設置してください。

コード類の折り曲げによる断線に注意してください。

機器類は熱を発します。本体側部および、上部に十分な空間が確保できるように設置してください。

製品概要

様々なデジタル機器の映像に描画ができるハードウェア方式

KMU-60000はソフトウェアのインストールが不要なハードウェア方式のマーキングユニットです。パソコン、ブルーレイプレーヤー、ビデオカメラなど、様々なデジタル機器の映像に描画を行うことができます。授業、会議、講演会、セミナーなどプレゼンテーション用ツールとして最適です。HDMI出力を2系統備え、1系統は発表者の参照用、もう1系統はプロジェクタなどへの提示用として利用ができます。HDCP（デジタル著作権保護）対応で、映画やデジタル教材などのコンテンツにも描画することができます。

描画方法はマウス、液晶ペンタブレットに対応

描画方法はマウス（付属）、ワコム社製液晶ペンタブレット（別売）から選択が可能です。液晶ペンタブレットをご利用頂くことで、より直観的に描画することができます。

パレットメニュー表示で操作も簡単

参照用画面に表示されるパレットメニューで線の太さ、カラー設定など用途に応じて、詳細な設定を行うことができます。

商品構成

はじめに梱包品が揃っていることをご確認ください。

- KMU-6000本体 1 台
- ACアダプタ 1 個
- HDMIケーブル固定具 3 セット
- マウス 1 個
- アース線 1 本

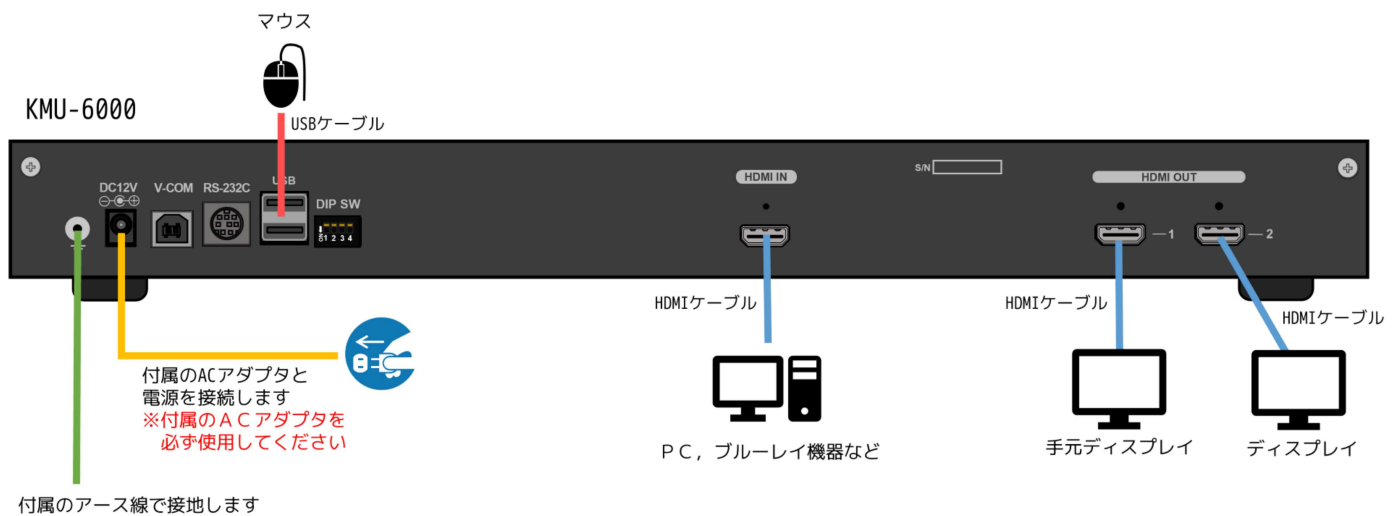
機器の接続

KMU-6000との接続例です。

- i 接続作業を行う前にすべての機器の電源をOFFにしてください。

マウスを使用した接続例

マウスと KMU-6000 の USB 接続口に接続します（※）。HDMI OUT 1 に参照用のディスプレイを接続し、HDMI OUT 2 に提示用のディスプレイを接続します。

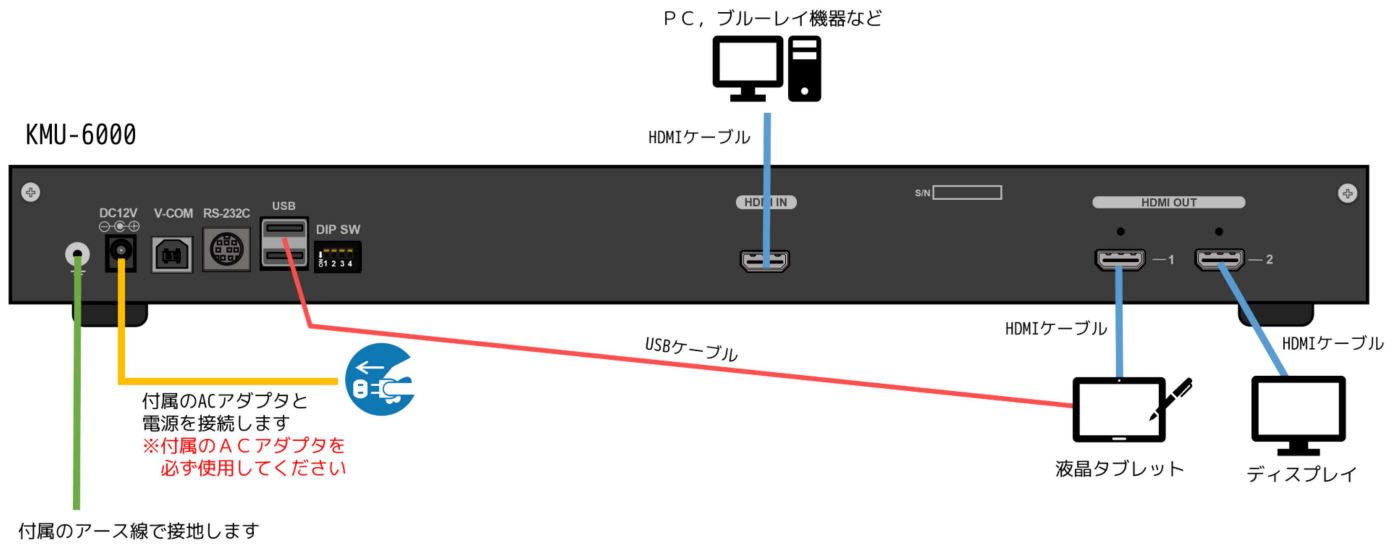


- i ※USB 接続口は上側、下側どちらに接続しても動作します。
※マウスを両方に接続してもそれぞれ独立して動作しません。

- i HDMI OUT 1 にツールメニューやマウスカーソルが表示されます。HDMI OUT 2 にはツールメニューやマウスカーソルは表示されず、描画したもののみ表示されます。

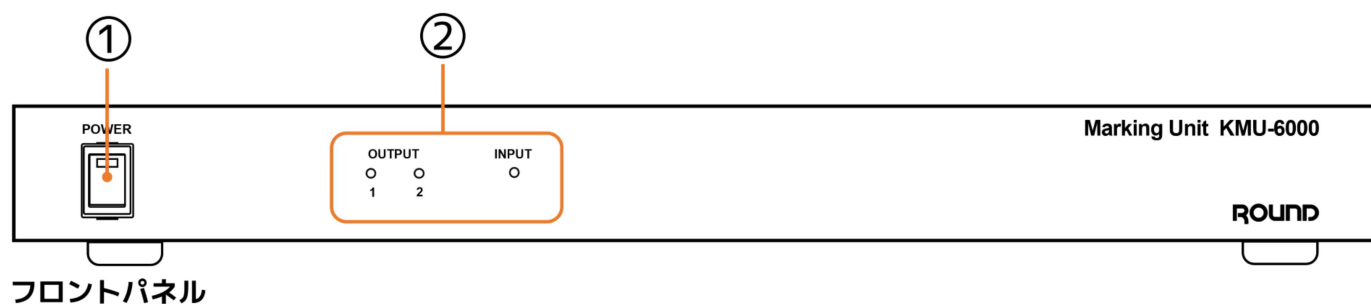
液晶タブレットを使用した接続例

液晶タブレットと KMU-6000 の USB 接続口に接続します。HDMI OUT 1 に液晶タブレットの HDMI IN を接続し、HDMI OUT 2 に提示用のディスプレイを接続します。



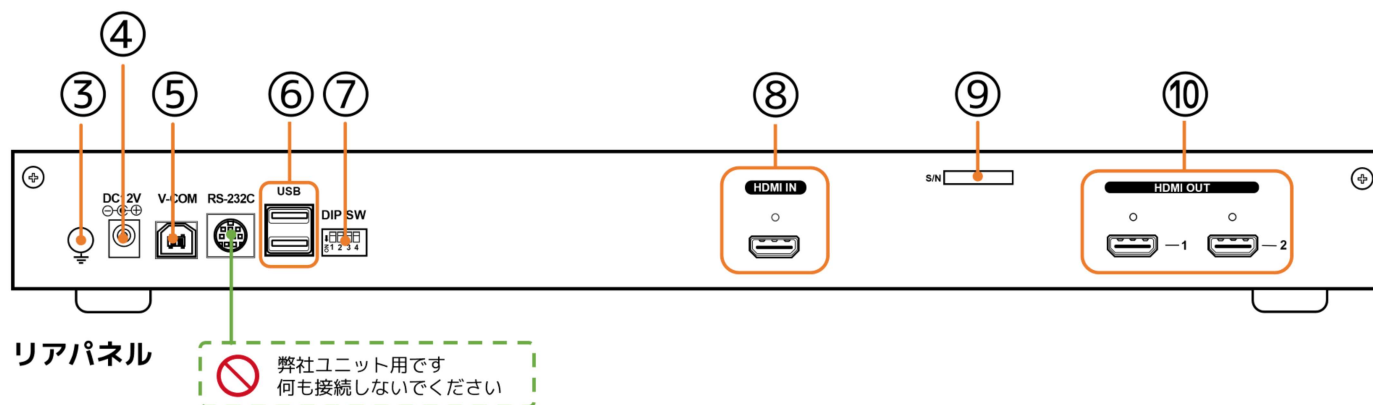
- i** HDMI OUT 1 にツールメニューが表示されます。HDMI OUT 2 にはツールメニューは表示されず、描画したもののみ表示されます。

各部の名称と働き



フロントパネル

- | | |
|---------------------------------|---|
| ① 電源スイッチ
(POWER) | KMU-6000の電源をONまたはOFFにするときに使用します（電源がONのときにLEDが緑色に点灯します）。 |
| ② 状態表示LED
(OUTPUT、
INPUT) | 各端子の状態を表示します。OUTPUT LED は出力側(HDMI OUT)の接続・映像出力状態、INPUT LED は入力側(HDMI IN)の接続・映像状態を表します。各色の状態についての詳細は「 LEDの表示状態について 」をご覧ください。 |



リアパネル

③ アース線取り付け口	付属のアース線を使って接地します。
④ DC入力 (DC IN)	付属のアダプタと接続します。
⑤ V-COM 端子 (V-COM)	P Cと接続し本機を専用のソフトで設定を変更するのに使用します。詳細は「 P Cから設定を変更する 」をご覧ください。
⑥ USB 端子 (USB)	描画の際に使用するマウスや液晶タブレットを接続します。描画については「 描画機能について 」をご覧ください。
⑦ モードスイッチ (DIP SW)	本体の動作モードを設定します。 動作モードについては「 モードスイッチの設定 」をご覧ください。
⑧ 映像入力端子 (HDMI IN1)	映像機器 (HDMI端子) を接続します。変換コネクタ (別売) を使用して DVI 出力を持つ機器からも接続可能です。
⑨ シリアル番号 (S/N)	製品のシリアル番号です。
⑩ 映像出力端子 (HDMI OUT1 ~ 2)	ディスプレイ (HDMI端子) を接続します。変換コネクタ (別売) を使用して DVI 入力のディスプレイにも接続可能です。HDMI OUT 1 にはツールメニュー、マウスカーソルが表示されるため描画者の参照用として使用します。HDMI OUT 2 にはツールメニューやマウスカーソルが表示されないので相手への提示／配信用として使用します。

LED の表示状態について

KMU-6000 は状態に応じて各LEDが以下のように点灯します。

出力映像状態表示LED（OUTPUT）

無 灯 ●	未接続状態
赤点灯 ●	映像信号出力停止中
青点灯 ●	DVI映像信号出力中
紫点灯 ●	HDMI映像信号出力中

入力映像状態表示LED（INPUT）

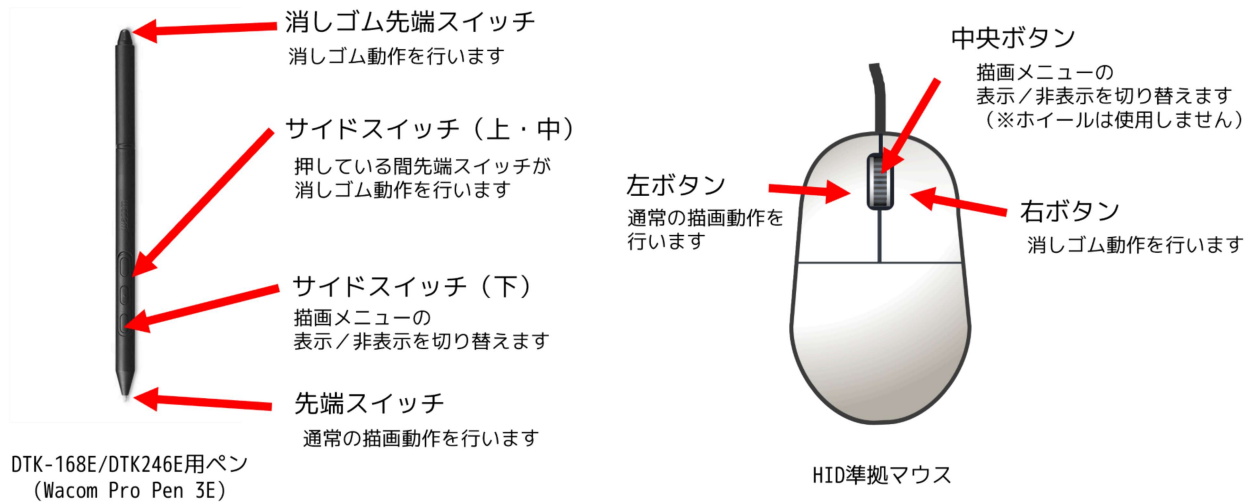
無 灯 ●	未接続状態
赤点灯 ●	映像信号入力なし
青点灯 ●	DVI映像信号入力中
紫点灯 ●	HDMI映像信号入力中

描画機能について

KMU-6000 は入力映像に対してマウスや液晶タブレットを用いて描画することができます。

- i** 本機が標準で対応しているマウスおよび液晶タブレットは、HID 準拠マウス（一部を除く）、Wacom 社製 DTH246E、DTK246E、DTK-168E、DTK-2451、DTK-1660E です。詳細は当社営業までお問い合わせください。

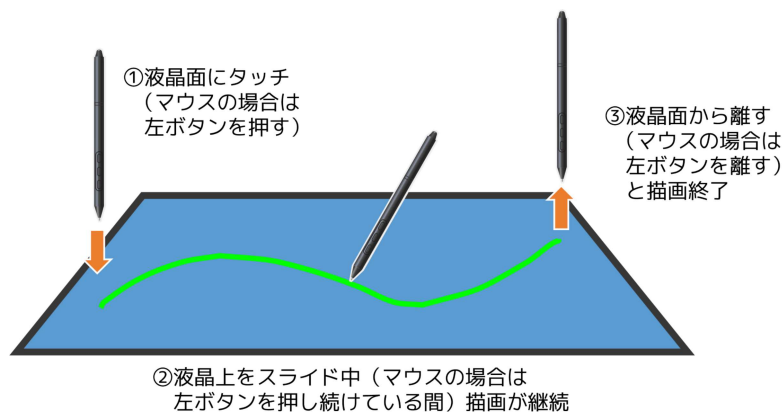
描画機能で使用するマウスや液晶タブレットのペンについての機能の割り当てを下図に示します。



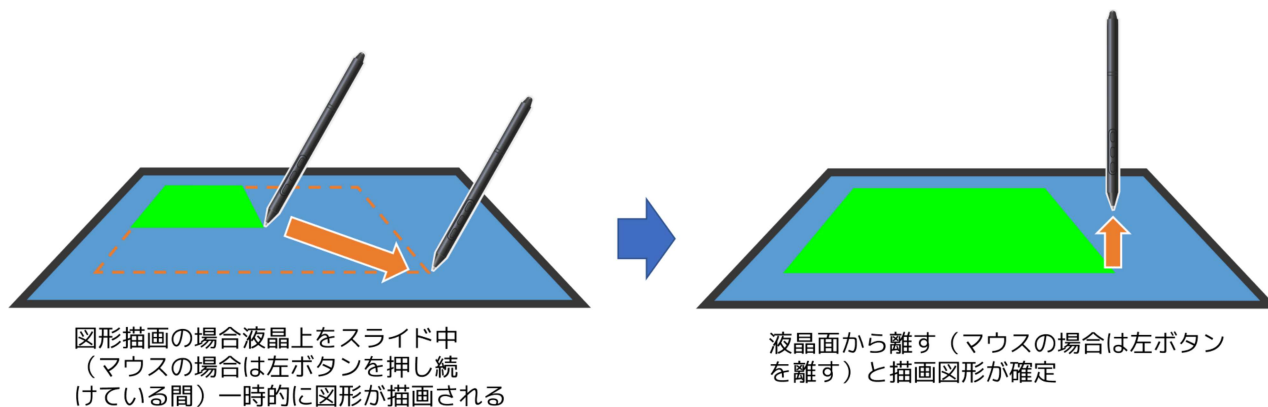
描画メニューはペンの場合はサイドスイッチ1、マウスの場合は中央ボタンを押すことで表示と非表示を切り替えることができます。

描画メニューの選択は各項目に対してペンで液晶タブレットをタッチすると選択します。マウスをご使用の場合は、左（または、右）クリックすると項目を選択します。詳細は「描画メニューについて」をご覧ください。

描画メニュー、および、設定メニュー以外の部分をペンでタッチ、または、マウスの左ボタンを押すと描画を開始します。そのあと自由描画の場合はペンをスライドさせている、または、マウスで左ボタンを押して移動させている間、描画が継続します。



自由描画を除く図形描画の場合は、一時的に図形が表示されペンを液晶から離す、または、マウスのボタンを離すと図形が確定し描画されます。なお、描画中は描画メニューが一時的に表示されません。



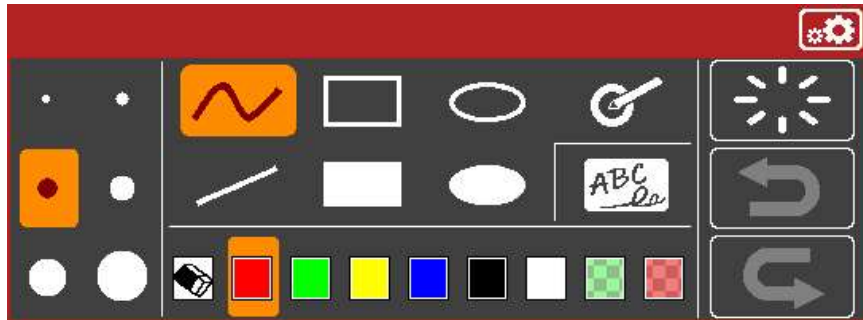
描画先となる映像は描画メニューで選択された映像(HDMI IN に入力されている映像、もしくは、単色画面映像)です。HDMI OUT 1、HDMI OUT 2 とともに同じ描画内容が表示されますが、描画メニューは HDMI OUT 1 にのみ表示されます。液晶タブレットをご使用になられる際は HDMI OUT 1 の出力映像を液晶タブレットに入力し表示させてください。

また、自由描画の場合は HDMI OUT 2 に即座に描画状態が反映され、自由描画以外の図形描画中は確定後に HDMI OUT 2 に反映されます。

ツールメニューについて

ツールメニューの項目を選択することで描画色の変更をおこなったり、描画先の変更等をおこないます。

- ① ツールメニューは HDMI OUT 1 の出力映像にのみ表示されます。HDMI OUT 2 の出力映像には表示されません。



ツールメニューは液晶タブレットをご使用の場合はタイトルバーをタッチしながらスライド、マウスをご使用の場合はドラッグ操作（左、または、右ボタンを押しながら移動）でツールメニューの位置を変更することができます。



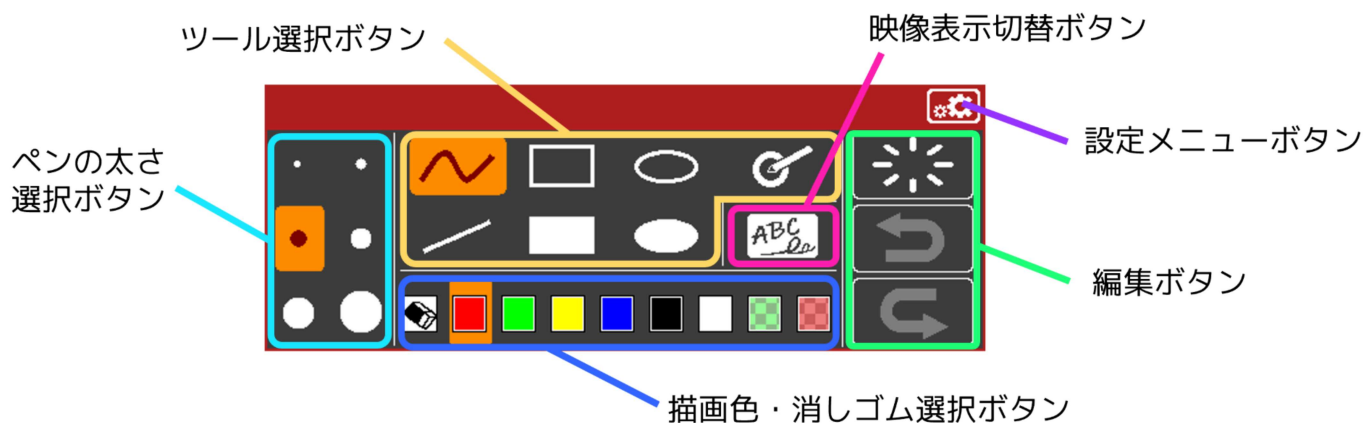
また、ツールメニューを非表示にしたい場合は液晶タブレットをご使用の場合はペンをタブレットに近づけてサイドボタン（下）を、マウスをご使用の場合は中央のボタンを押すことでツールメニューを非表示にすることができます。



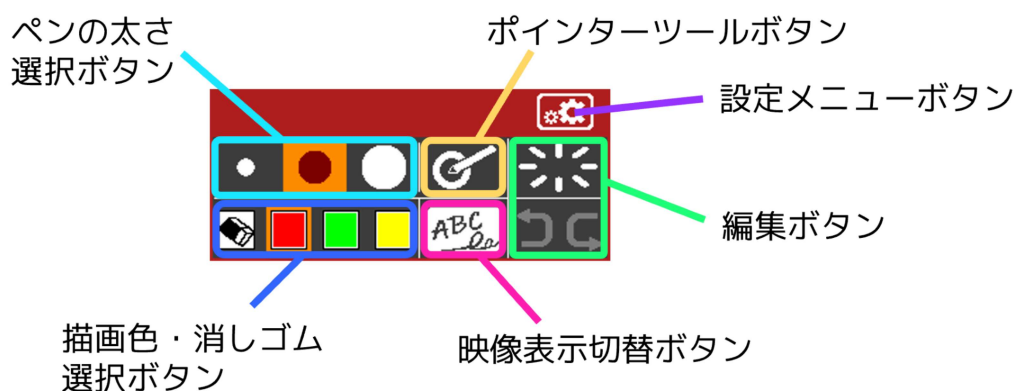
次に、ツールメニューの各項目について説明します。

ツールメニューにはツールメニュー（標準）と機能を絞ったツールメニュー（ミニ）があります。標準とミニの切替は設定メニューから変更できます。

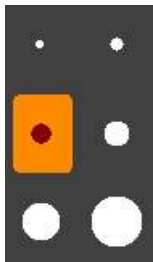
ツールメニュー（標準）



ツールメニュー（ミニ）



ペンの太さ選択ボタン



ペンの太さは図の6種類（ミニの場合は3種類）から選択することができます。選択中のペンの太さは背景が橙色になります。ここで選択した太さは自由描画のほか各図形を描く時の太さにも反映されます。

ツール選択ボタン



※ツールメニュー（標準）のみ

図の6種類の描画ツールと、ポインターツールから選択することができます。選択中のツールは背景が橙色になります。ここでの選択は液晶タブレットをご使用の場合は消しゴム先端スイッチでの描画、マウスをご使用の場合は右クリックでの描画に対しては影響しません。（常に自由描画となります。）

自由描画ツール ()

フリーハンドで描画します。

直線描画ツール ()

直線を描画します。

長方形描画ツール ()

長方形を描画します。

長方形塗りつぶし描画ツール ()

長方形の範囲を塗りつぶします。

楕円描画ツール ()

楕円を描画します。

楕円塗りつぶし描画ツール ()

楕円の範囲を塗りつぶします。

ポインタツール ()

ペンの先端がタブレットに触れている間（マウスの場合は左ボタンを押している間）、円が一時的に表示され描画は行いません。

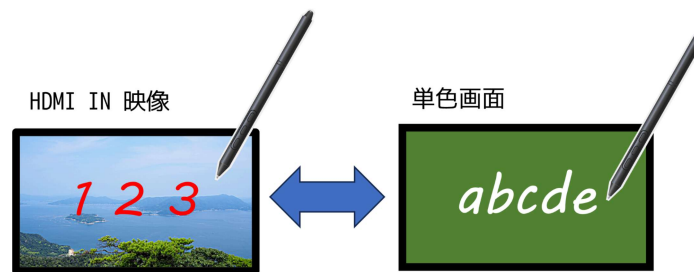
ポインタモード切替ボタン ()

※ツールメニュー（ミニ）のみ

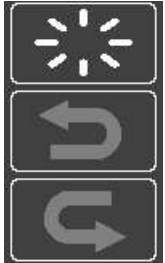
描画モードとポインタモードを切り替えます。ポインタモードはペンの先端がタブレットに触れている間（マウスの場合は左ボタンを押している間）、円が一時的に表示され描画は行いません。ポインタモード時はボタンの背景が橙色になります。

映像表示切替ボタン ()

描画する対象映像を選択します。KMU-6000 では HDMI IN の映像とは別に単色画面に描画するモードがあります。単色画面モード時はボタンの背景が橙色になります。単色画面の色については設定メニューから変更することができます。



編集ボタン



全消去 ()

選択中の映像の描画内容をすべて消去します。この操作は一度行くと描画の履歴もすべて消去され「元に戻す」を含めて取り消すことができません。

元に戻す ()

選択中の映像の直前の描画内容を最大5回まで取り消すことができます。  と表示されている場合は元に戻せる内容がなく選択できません。

やり直し ()

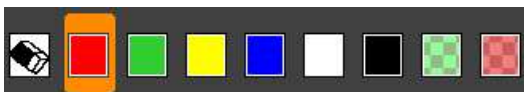
選択中の映像の「元に戻す」で取り消した描画内容を復元することができます。「元に戻す」を行った分だけこの操作を行うことが可能です。  と表示されている場合はやり直せる内容がなく選択できません。

設定メニューを開くボタン



設定メニューを表示します。設定メニューについては「[設定メニューの操作](#)」をご覧ください。

描画色・消しゴム選択ボタン



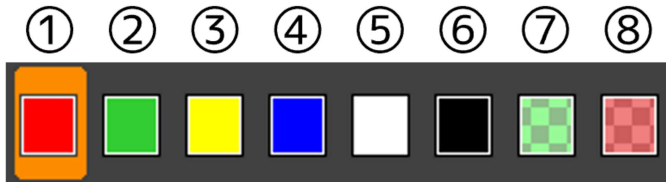
各描画に使用する色、または、消しゴムを選択できます。

消しゴム ()

描画内容を「描画方法選択」で指定した方法を用いて消去します。例えば、「描画方法選択」で円塗りつぶしを選択していた場合はその範囲を消去します。ただし、自由描画の場合、他の色を選択している時とは異なりペンの先が円ではなく四角形になります。

描画色選択 ()

各描画に使用する色を選択します。この色については設定メニューから変更することが可能です。本体の電源投入時は①の色が選択された状態になります。



映像入力について

KMU-6000 は映像機器に通知する EDID を入力チャンネル毎に設定することができます。

i EDID (Extended Display Identification Data)はディスプレイを最適に使用するための設定情報を格納するデータフォーマットを定義した規格です。PCやブルーレイプレイヤー等の映像出力機器はこの設定情報をもとに出力する映像信号のフォーマットを決定します。

設定できるEDID

出力解像度と同じ	出力解像度と同じ解像度の EDID を設定します。 (出力解像度を変更すれば EDID も連動して変更します。)
1080p (FHD)	TV (CE) 向けフォーマット (CEAに準拠)
720p (HD)	
480p (SD)	
1920 × 1200 (WUXGA)	PC (IT) 向けフォーマット (VESAに準拠)
1600 × 1200 (UXGA)	
1680 × 1050 (WSXGA)	
1600 × 900 (WXGA++)	
1440 × 900 (WXGA+)	
1366 × 768 (FWXGA)	
1280 × 1024 (SXGA)	
1024 × 768 (XGA)	

i 各EDID は 8bpc RGB、音声対応(LPCM, 2ch)、HDMI 対応のものとなります。

KMU-6000は映像出力機器に対して出力して欲しい映像タイミングをEDIDで通知しますが、それ以外の映像タイミングであっても受付可能範囲内であれば表示することができます。(※ただし、受付可能範囲内であってもすべての映像タイミングで正しく表示できるとは限りません。また、色は 8bit RGB、最大映像更新速度 60 フレーム／秒での表示となります。)

受付可能な映像タイミング

水平解像度※ 1	320 ～ 1920 pixel
垂直解像度※ 1	240 ～ 1200 line
スキャンタイプ※ 2	プログレッシブ
色空間※ 3	RGB, YCbCr(4:2:2), YCbCr(4:4:4)

- ※1 4 K映像の入力には対応していません
- ※2 インターレース映像の入力には対応していません
- ※3 YCbCr4:2:0 の色空間には対応していません

上記、表示可能範囲内以外の映像は次のように表示され入力映像は表示されません。



映像出力について

KMU-6000 は入力映像に依存することなく設定された解像度を固定的に出力します。

出力可能な解像度

1080p (FHD)	TV (CE) 向けフォーマット (CEAに準拠)
720p (HD)	
480p (SD)	
1920 × 1200 (WUXGA)	PC (IT) 向けフォーマット (VESAに準拠)
1600 × 1200 (UXGA)	
1680 × 1050 (WSXGA)	
1600 × 900 (WXGA++)	
1440 × 900 (WXGA+)	
1366 × 768 (FWXGA)	
1280 × 1024 (SXGA)	
1024 × 768 (XGA)	

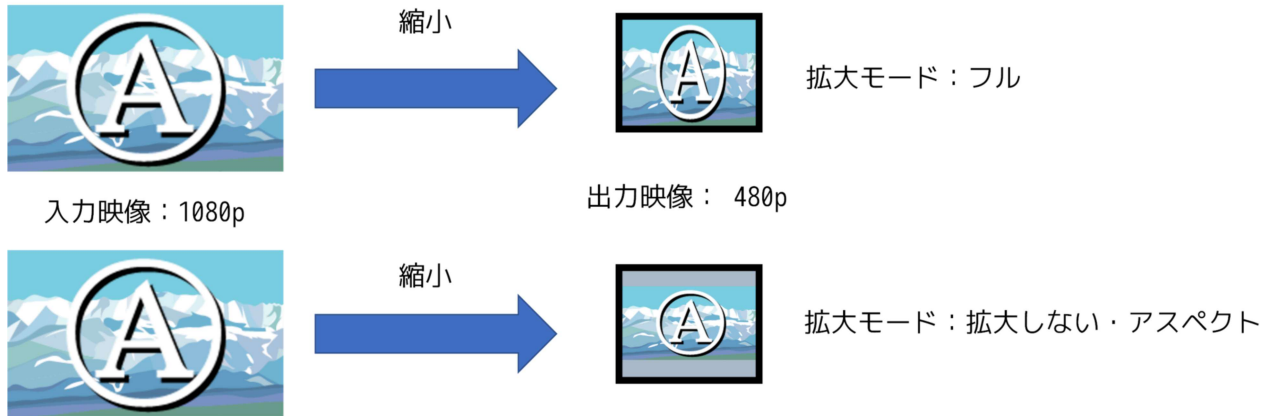
※いずれもリフレッシュレート：≒60Hz、スキャン方式：プログレッシブ、カラー：8bpc RGB。

i 誤って表示できない解像度を設定してしまいディスプレイにメニューを表示することができなくなった場合は DIP-SW の 1 番を ON にして本体の電源を入れると一時的にメニュー上の解像度の設定に関わらず 480p 固定の解像度を出力するモードで動作しますので、改めてメニューから正しい解像度を設定してください。

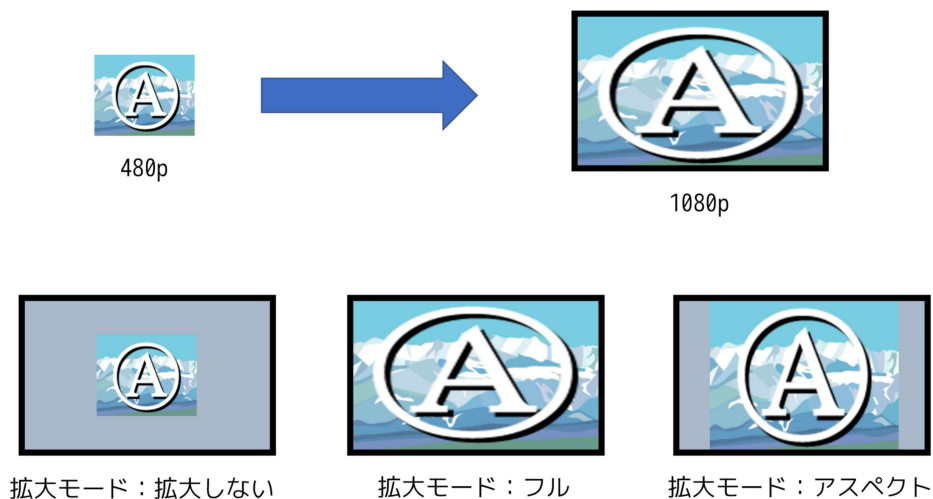
映像表示について

KMU-6000 は表示領域においてそれよりも大きい領域の映像が入力された時、長辺がすべて表示可能な大きさまで自動で入力映像の縮小を行います。

入力映像と出力映像の縦横の比率が異なる場合は拡大モードの設定に従い調整します。

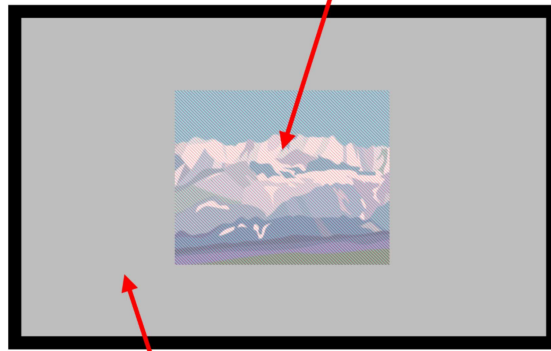


出力領域より小さい映像が入力された場合は、設定にしたがって入力映像の拡大を行う、または、行いません。



拡大縮小の結果、映像の表示されない領域（非映像領域）は設定した色で塗りつぶされます。

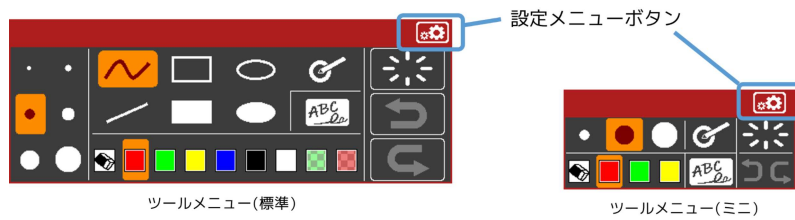
映像領域



非映像領域

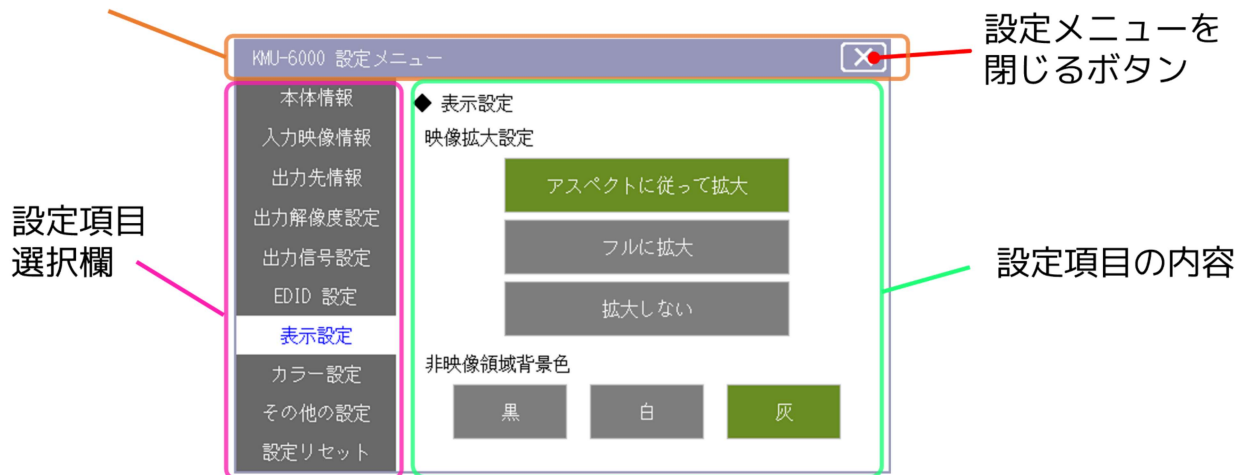
設定メニューの操作

マーキングメニューの設定ボタンを押すと各種設定を行う設定メニューが表示されます。

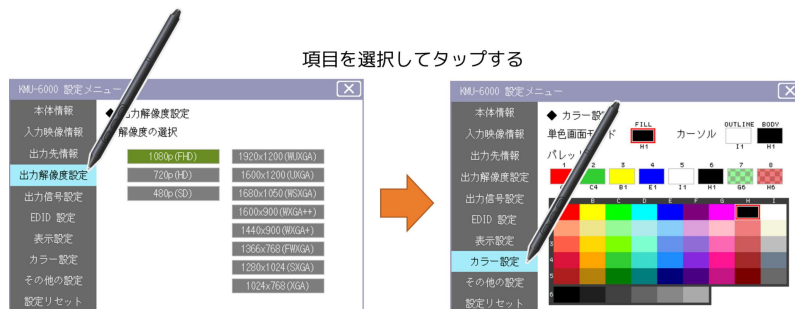


⚠ モードスイッチの2番が ON のときは設定ボタンが表示されません。設定メニューを表示させる場合は**モードスイッチ**の2番を OFF にしてください。

タイトルバー

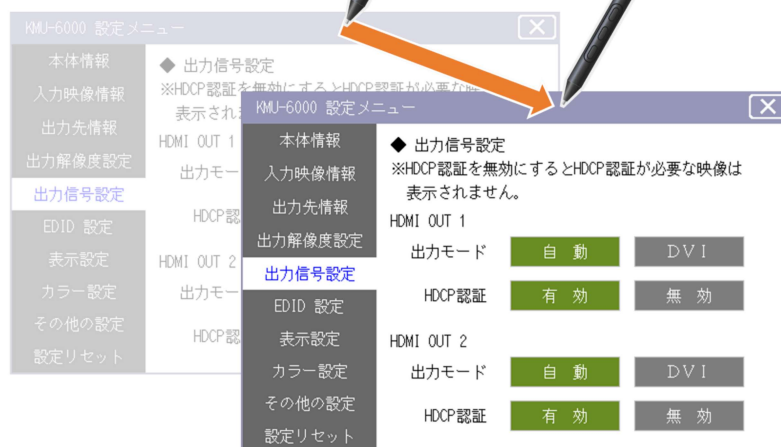


設定メニューは複数の項目からなり、設定メニュー項目を選択（マウスでクリック、または、ペンでタップ）することで設定ページの内容が切り替わります。



i 設定メニューの表示位置は設定メニューのタイトルバーをドラッグすることで移動できます。設定メニューは HDMI OUT 1 の画面のみに表示されます。

タイトルバーを
タッチしながらスライド



設定メニュー（本体情報ページ）

本体のファームウェアのバージョンや USB 機器の情報を表示します。



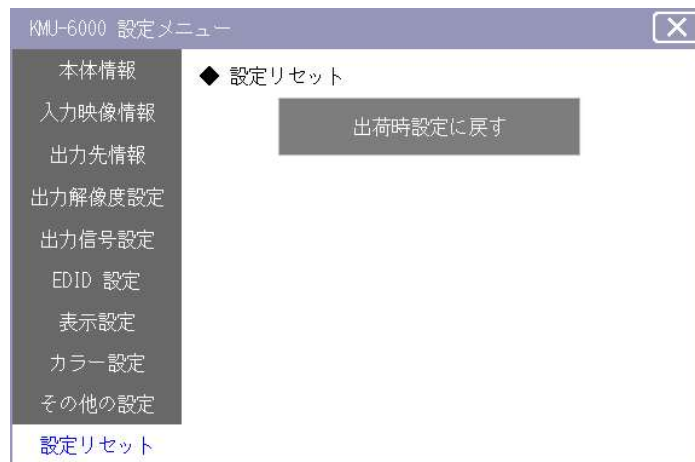
◆本体 ID／バージョン情報

KMJ-6000 本体 ID と ファームウェアのバージョンが表示されます。

◆USB 接続情報

接続した USB 機器の情報が表示されます。USB 1 は 上側の USB 端子、USB 2 は下側の USB 端子の情報を表示します。

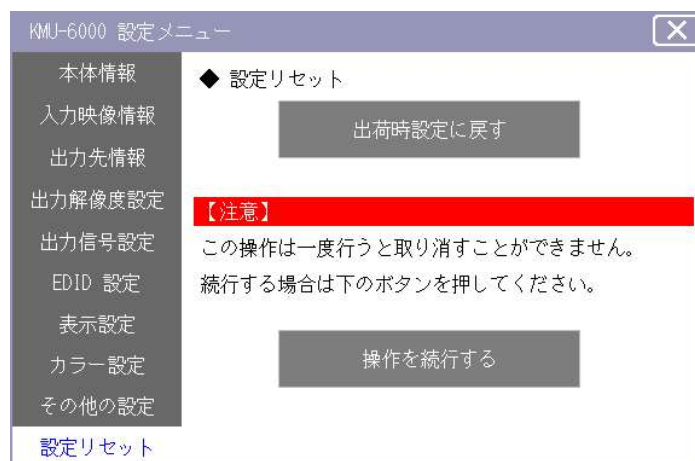
設定メニュー（設定リセットページ）



◆設定初期化

メニュー上で行った全ての設定を初期状態に戻します。

「出荷状態に戻す」ボタンを押すと、下部に確認欄が表示されますので、操作を続行するには「操作を続行する」ボタンを押してください。ボタンを押すと本体の設定値が初期化され再起動します。



⚠ この操作は一度実行すると取り消すことができませんので十分にご注意ください。
設定の復元をお申し出になられても弊社では対応いたしかねます。

設定メニュー（入力映像情報ページ）

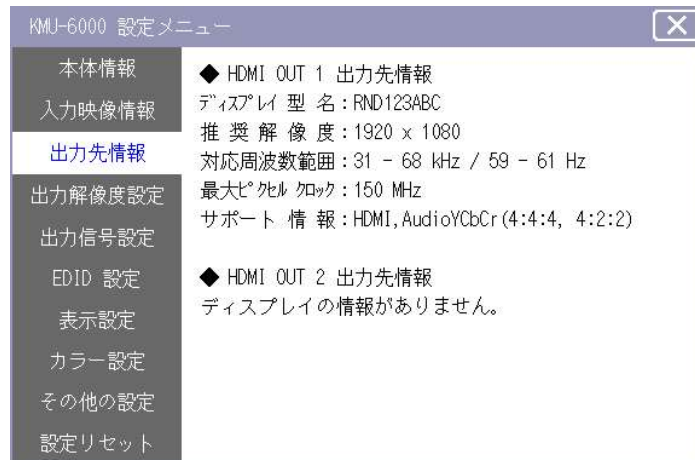
HDMI IN に入力されている映像についての情報を表示します。



- i** 解像度やピクセルクロック等、KMU-6000に入力されている映像信号の項目で本機の対応範囲外の項目は赤字で表示されます。

設定メニュー（出力先情報ページ）

HDMI OUT 1 および HDMI OUT 2 に接続されている出力先の情報を表示します。

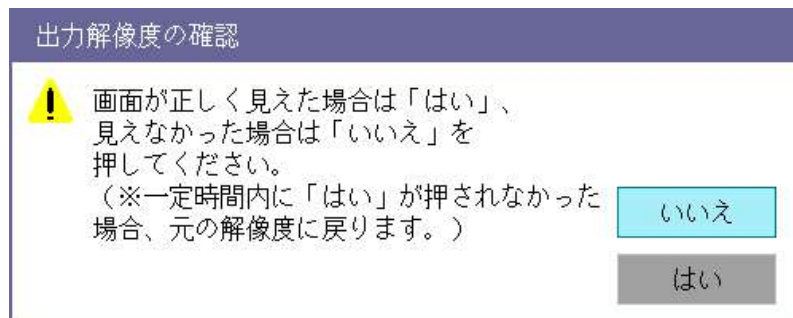


設定メニュー（出力解像度設定ページ）



◆出力解像度設定

ディスプレイに出力する映像の解像度を選択します。現在と異なる出力解像度をマウスでクリック、または、ペンでタップすると選択した解像度に変更され下図の確認ダイアログが表示されます。



正しく画が映っている場合は「はい」を選択します。

正しく画が映っていない場合や何も表示されない場合はお使いのディスプレイがその解像度に対応していませんので、「いいえ」を選択、または、しばらく待つことで元の解像度に戻します。

設定メニュー（出力信号設定ページ）



◆出力信号設定

HDMI OUT 1、HDMI OUT 2 それぞれに対して出力モードやHDCPの認証の設定を行います。

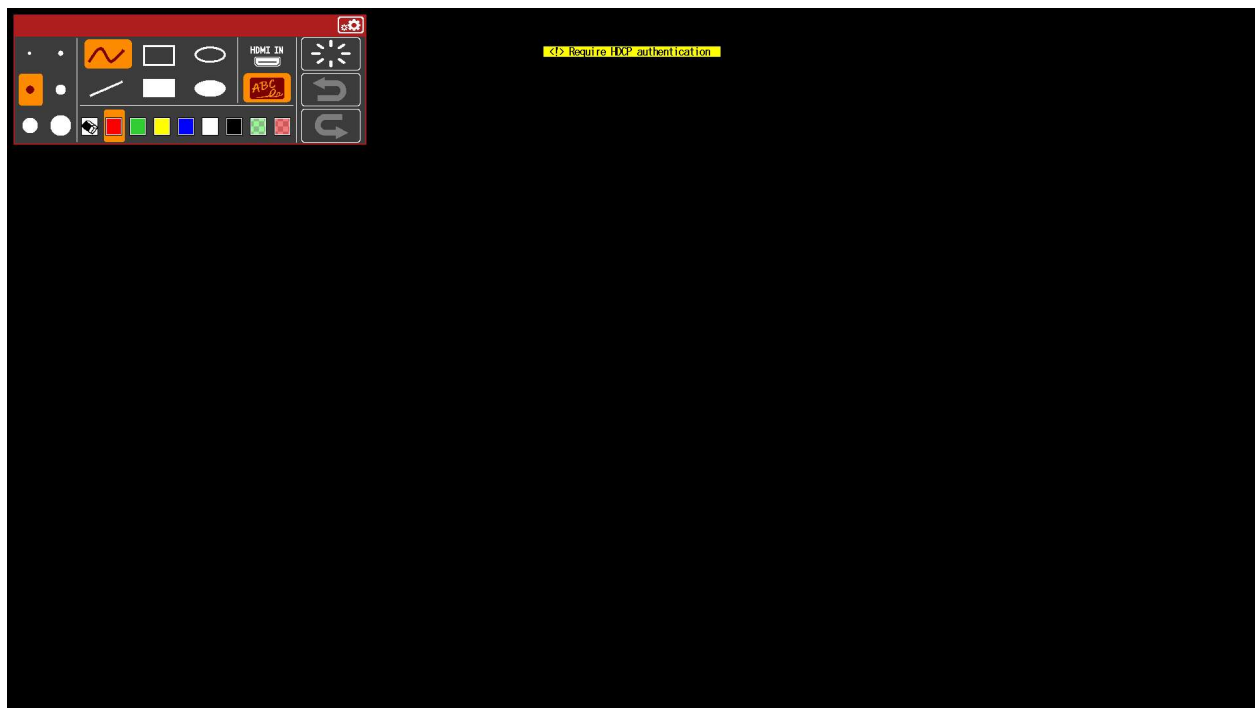
出力モード

出力する信号の種類を設定します。「自動」を選択した場合は出力先機器（ディスプレイ等）に応じてHDMI信号もしくはDVI信号を出力するかを自動で決定します。「DVI」を選択した場合は出力先機器の状況にかかわらず常にDVI信号で出力します。通常は「自動」を選択してください。

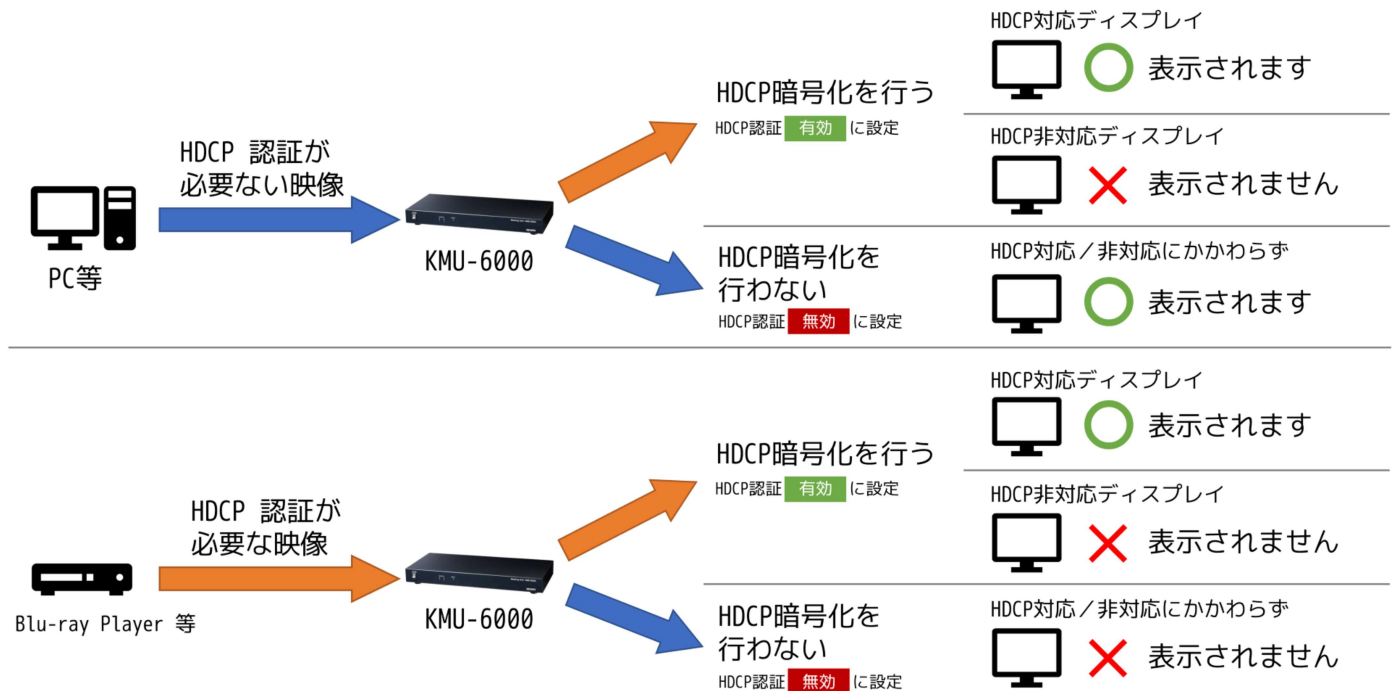
HDCP認証

KMU-6000と出力先機器（ディスプレイ等）間でHDCP認証を行うか設定します。「有効」ボタン、または、「無効」ボタンを押して切り替えます。

HDCP暗号化を有効にした場合、HDCP対応ディスプレイが必要です。HDCP非対応ディスプレイをご使用の場合は入力映像が表示されません。ビデオキャプチャやHDCP非対応ディスプレイをご使用になるときはHDCP認証を無効にしてお使いください。（ただし、ブルーレイ機器等のコンテンツが保護されている映像はHDCP認証が必要となるため次のように表示され、入力映像は表示されません。）



HDCPの有効／無効、HDCP対応／非対応ディスプレイの関係は以下の通りです。



設定メニュー（EDID設定ページ）



◆EDID設定

入力機器に対して通知する EDID を設定します。EDIDについては「[映像入力について](#)」のページをご覧ください。

フォーマット

入力機器側から出力させたい信号フォーマットを設定します。「HDMI」を選択した場合はHDMI信号を、「DVI」を選択した場合はDVI信号を入力機器から出力するように本体のEDIDを設定します。通常は「HDMI」を選択してください。PCのセカンダリ映像等でKMJ-6000側に音声出力させたくない場合は「DVI」を選択してください。

推奨解像度の選択

入力機器側から出力させたい解像度を選択します。通常は「出力解像度と同じ」を選択してください。

設定メニュー（表示設定ページ）

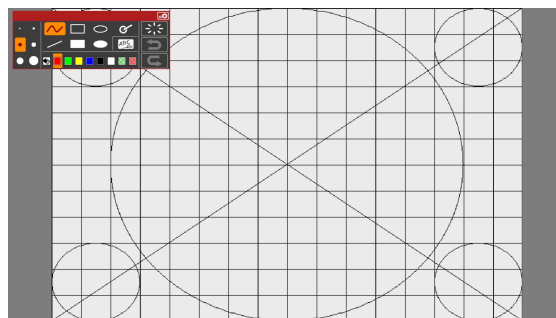


◆表示設定

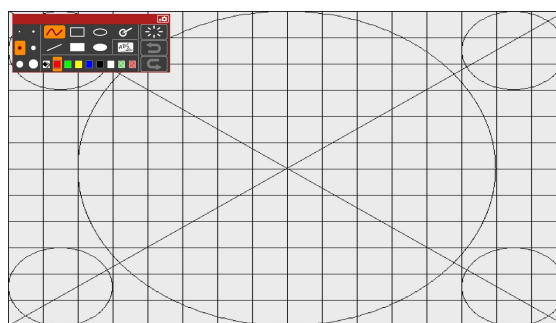
映像拡大設定

映像を拡大するときのモードを選択します。（詳細については「[映像表示について](#)」をご覧ください。）

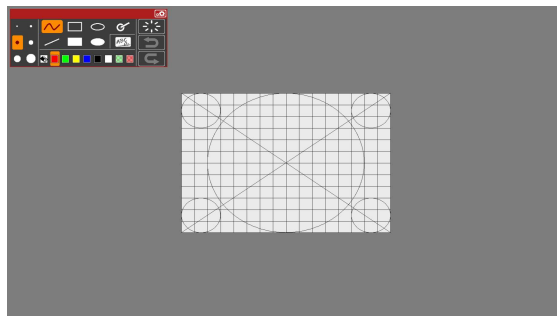
- ・ アスペクトに従って拡大



- ・ フルに拡大



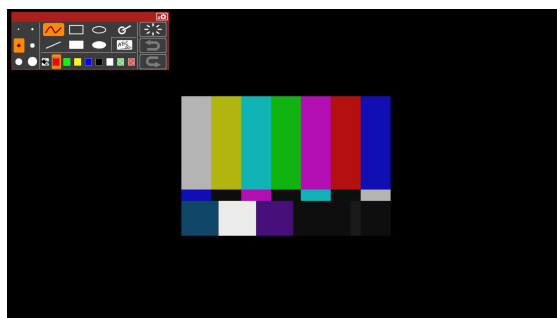
- ・ 拡大しない



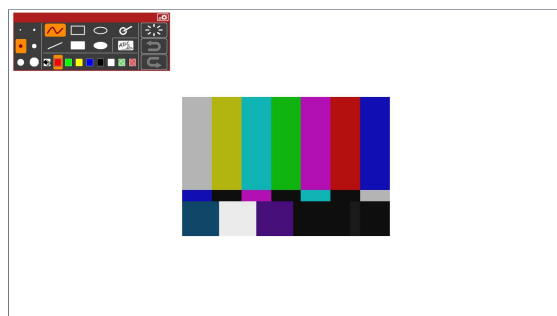
非映像領域背景色

映像が無い領域で表示する色を選択します。

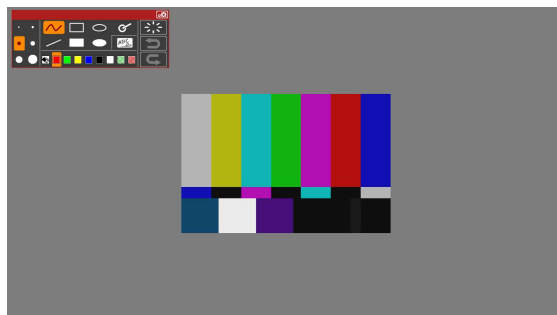
- ・ 黒



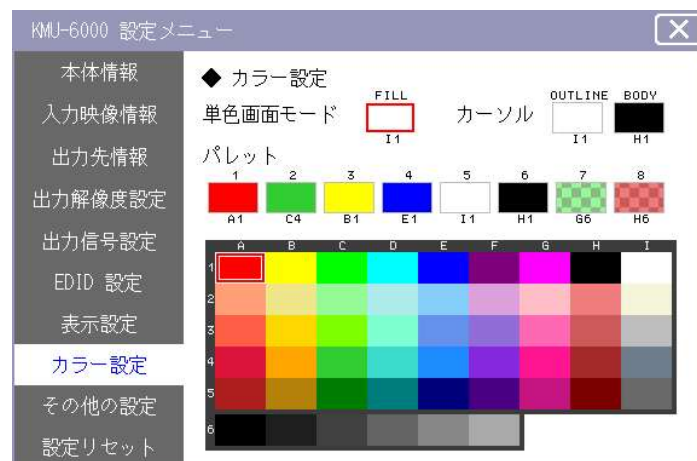
- ・ 白



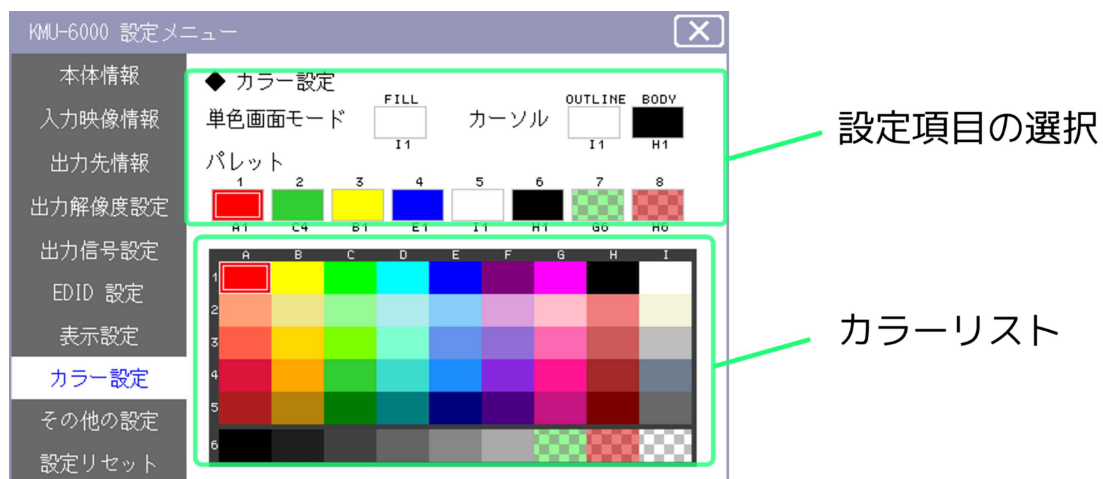
- ・ 灰



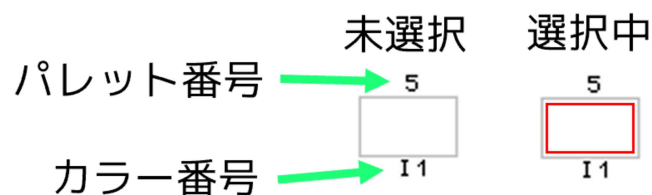
設定メニュー（カラー設定ページ）



◆カラー設定

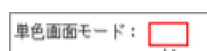


カラー設定では各種項目について色の変更を行うことができます。変更する項目のカラーを選択し、下のカラーパレットから変更する色を選択して変更します。選択している項目、および、選択中の色は赤枠で表示されます。



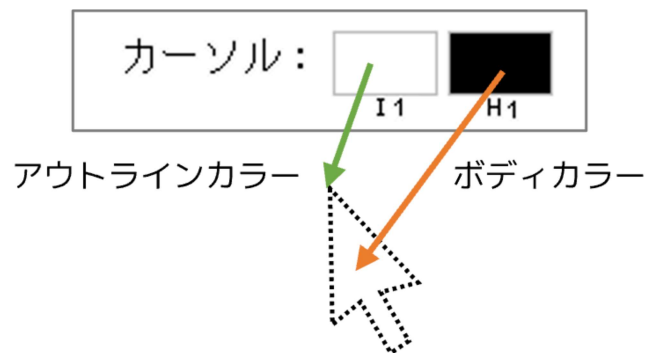
単色画面モード

単色画面モード時の背景色をカラーリストから選択します。蛍光色、透明色は選択できません。



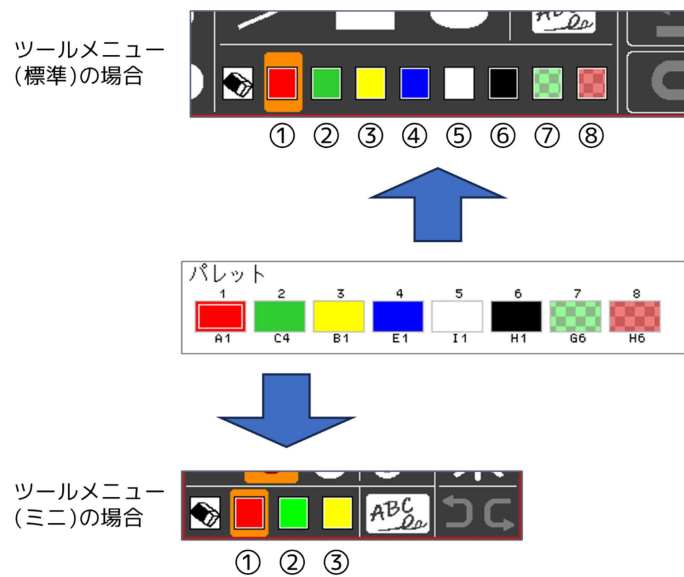
カーソル

マウス使用時に表示されるマウスカーソルの色をカラーリストから選択します。蛍光色、透明色は選択できません。



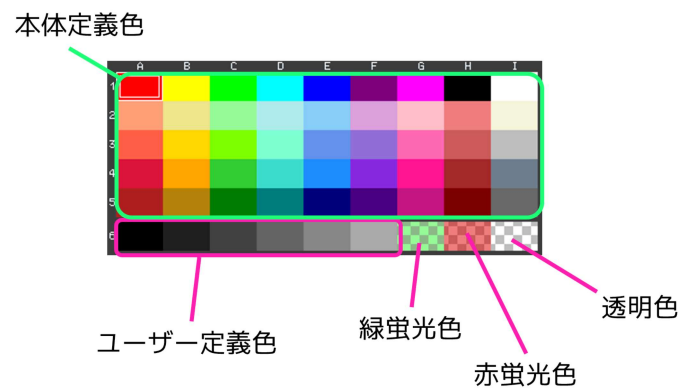
パレット

各パレットはそれぞれ描画メニューの下図に示すパレットに対応しており、描画に使用する色をカラーリスト中から選択することができます。変更前に描画した色はこの設定によって変更されることなく維持されます。



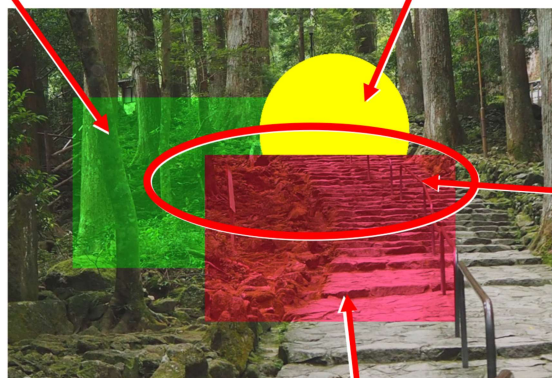
カラーリスト

あらかじめ決まった色が定義された本体定義色や 設定ツールを使用することでユーザーが自由に色を定義できるユーザー定義色、特殊な色である緑蛍光色・赤蛍光色・透明色から各項目に設定する色を選択します。各パレットで選択中の色は赤枠で表示されます。



緑蛍光色で描画

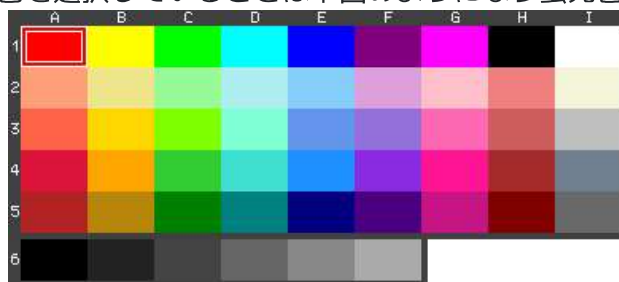
通常色（黄色）で描画



既に描画されているところにさらに蛍光色で描画してもその描画色の上に蛍光色がのるのではなく背景に蛍光色がのります（蛍光色どうしでも同じです）

赤蛍光色で描画

単色画面モード色、カーソル色を選択しているときは下図のようになり蛍光色、透明色は選択できません。



i ユーザー定義色の設定については「設定ツールについて」をご覧ください。

設定メニュー（その他の設定ページ）



◆その他の設定

起動お知らせ音

本体起動時に音を鳴らすかどうかを設定します。

起動時のペンの太さ

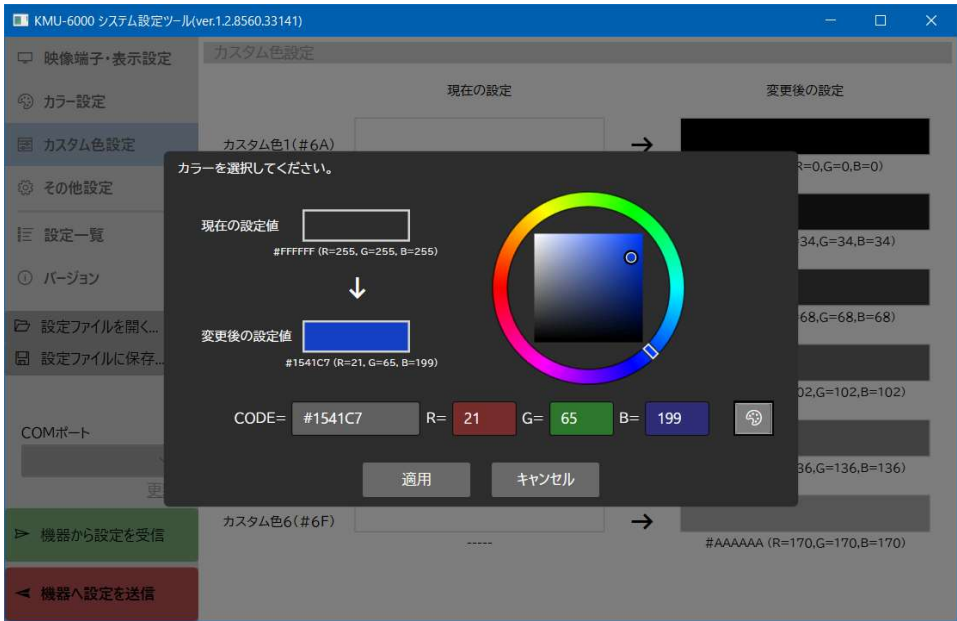
起動後はじめに設定されているペンの太さを設定します。数字が大きくなるほど太くなります。

ツールメニュータイプ

ツールメニューのタイプを指定します。ツールメニューについては「[ツールメニューについて](#)」をご覧ください。

設定ツールについて

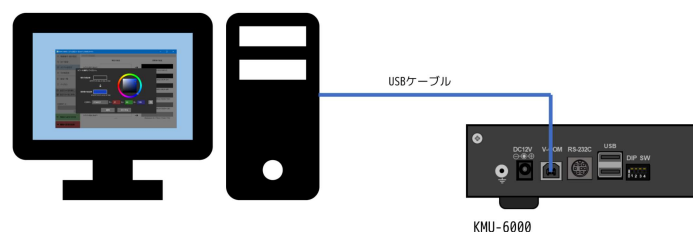
お手持ちの P C と K M U - 6 0 0 0 の V - C O M を USB ケーブルで接続することで専用の設定ツールを用いて本体の各種設定やユーザーカラーの定義を行うことができます。



次の表では、設定ツールの動作環境を示します。

項目	要件
OS	Windows 10 Version 1607以降、Windows 11
ランタイム	.NET 8 デスクトップ ランタイムがインストールされていること
プロセッサ	1 GHz 以上のプロセッサまたは SoC
RAM	1 GB (32 ビット) または 2 GB (64 ビット)以上
空きディスク領域	50MB以上
ディスプレイ	1280 x 1024(SXGA) 以上

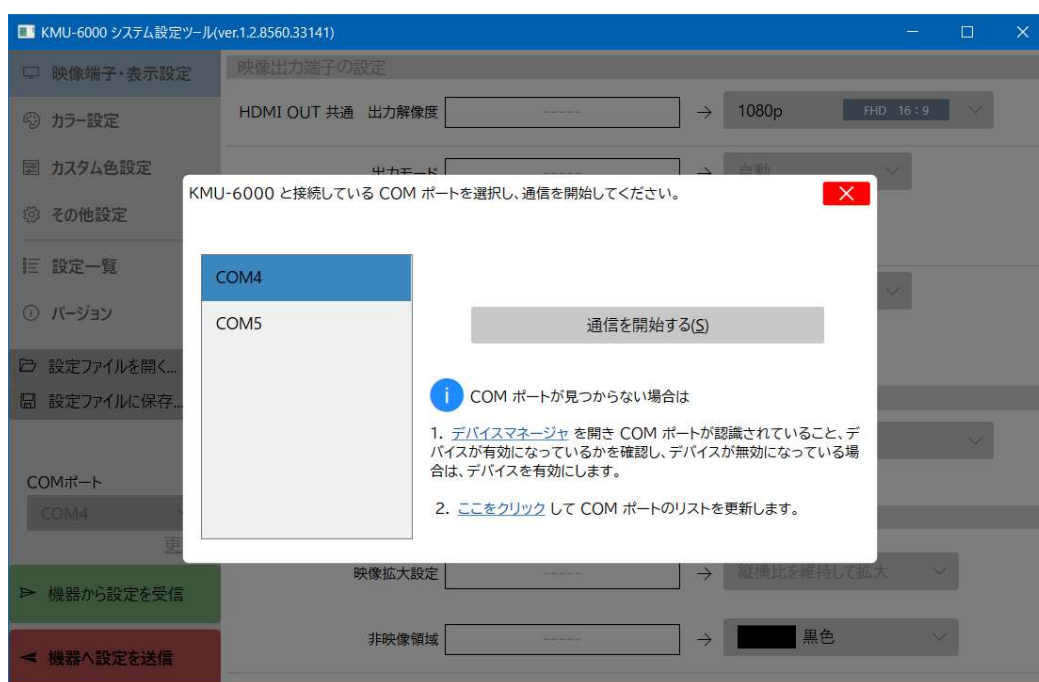
操作方法



PC と KMU-6000 の V-COM を接続し設定ツールを起動します。はじめにスタートダイアログが表示されますので、接続している COM ポートを選択します。

i 本ソフトを起動してから接続した場合は「ここをクリック」をクリックして COM ポート一覧を更新してください。また、該当の COM ポートが見つからない場合はデバイスマネージャを開いて COM ポートが認識されているか確認してください。

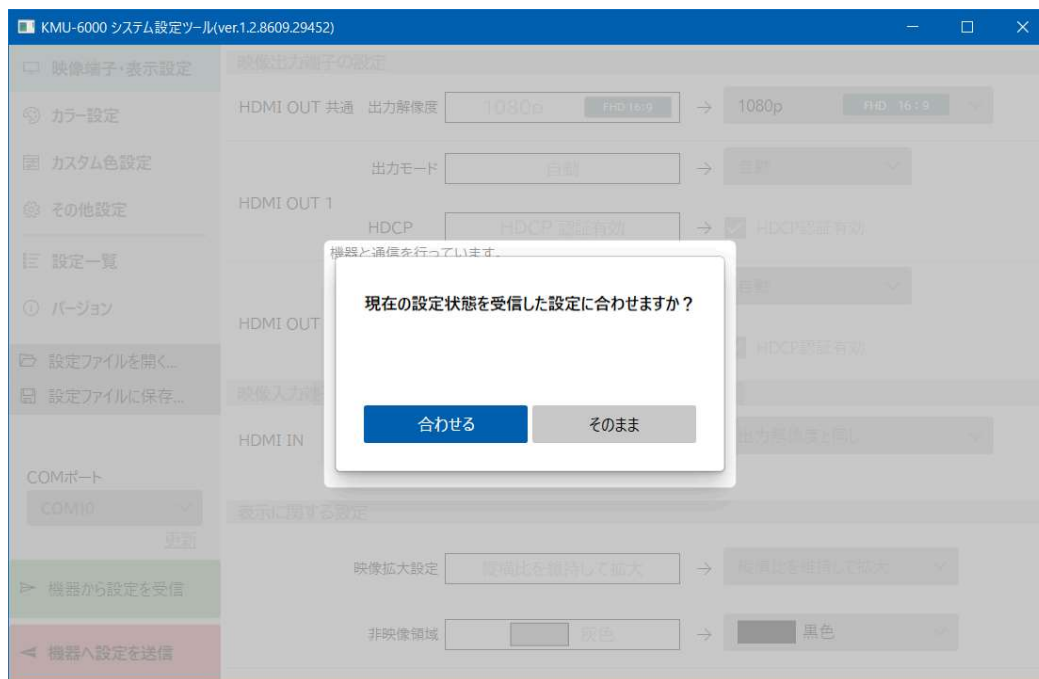
i V-COM を動作させるには FTDI 社のドライバが必要です。🔗 <https://ftdichip.com/drivers/> から VCP と D2XX ドライバーをインストールしてください。



「通信を開始する(S)」ボタンを押して通信を開始します。

i KMU-6000 との通信を行わずに、設定ファイルを開いて編集したいなどの場合は「通信を開始する (S)」ボタンを押さずに、スタートダイアログ右上の「X」ボタンをクリックすることで KMU-6000 との通信手順をスキップすることができます。また、ここで KMU-6000 との通信をスキップしてもあとから KMU-6000 と通信することもできます。

本体と正常に通信が完了すると次の画面が表示されますので、本体の設定状態とツールの設定状態を合わせる場合は「合わせる」のボタンを 合わせない場合は「そのまま」のボタンを押します。そのあと、メイン画面が表示され各種設定、および、本体の設定状態の確認を行うことができます。



⚠ 正しく通信ができなかった場合は、選択した COM ポートが正しいか、KMU-6000 の電源が入っているかを確認してください。

メイン画面の構成は次の通りです。



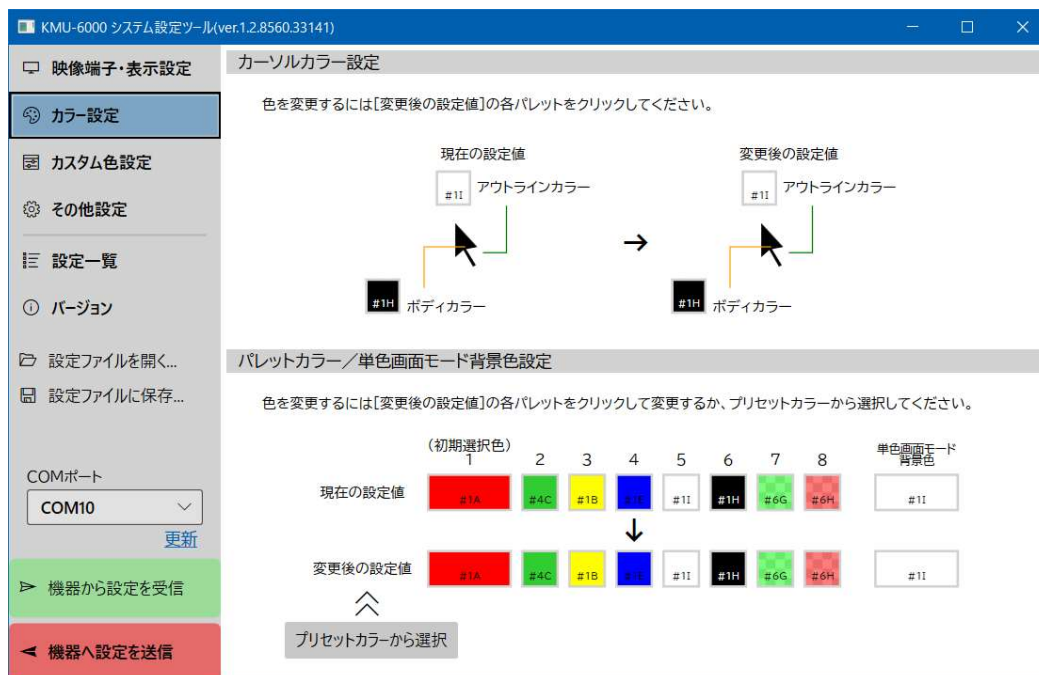
- | | |
|---------------------------------------|---|
| ① 設定項目選択、
設定ファイル読み書き、
COMポート設定欄 | 各項目をクリックすることで表示する設定項目の変更や、設定ファイルの書き出し、読み込み、COM ポートの再設定をすることができます。 |
| ② 機器から設定を受信ボタン | KMU-6000 と通信を行い設定状態を受信します。 |
| ③ 機器に設定を送信ボタン | KMU-6000 と通信を行い設定を送信し本体に反映させます。 |
| ④ 設定項目表示欄 | 設定項目選択で選択された設定項目を表示します。 |

映像端子・表示設定

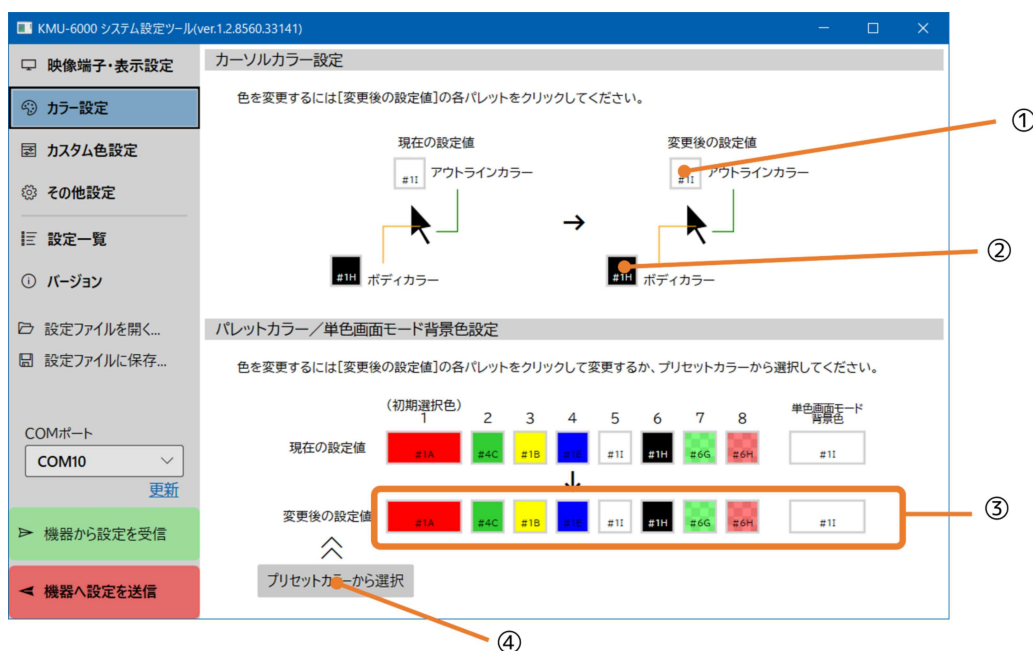
HDMI OUT 端子から出力する出力解像度や HDMI IN の EDID、表示の設定を行います。設定内容の詳細については「設定メニューの操作」項目の [出力解像度設定ページ](#) や [表示設定ページ](#)、[EDID 設定ページ](#) をご覧ください。

カラー設定

マウス使用時のカーソルの色やパレットのカラーの設定を行います。



各ボタンの機能は次の通りです。



- | | |
|-------------------|--|
| ① アウトラインカラー設定ボタン | マウスカーソルのアウトラインカラーを設定します。クリックすると色選択ダイアログが表示されます。 |
| ② ボディカラー設定ボタン | マウスカーソルのボディカラーを設定します。クリックすると色選択ダイアログが表示されます。 |
| ③ パレットカラー選択ボタン | パレットの各色や単色画面モード時の背景色を設定します。クリックすると色選択ダイアログが表示されます。 |
| ④ プリセットカラーから選択ボタン | あらかじめいくつかの用意されている色の組み合わせから一括でパレットカラーと単色画面モードの背景色を設定します。クリックするとポップア |

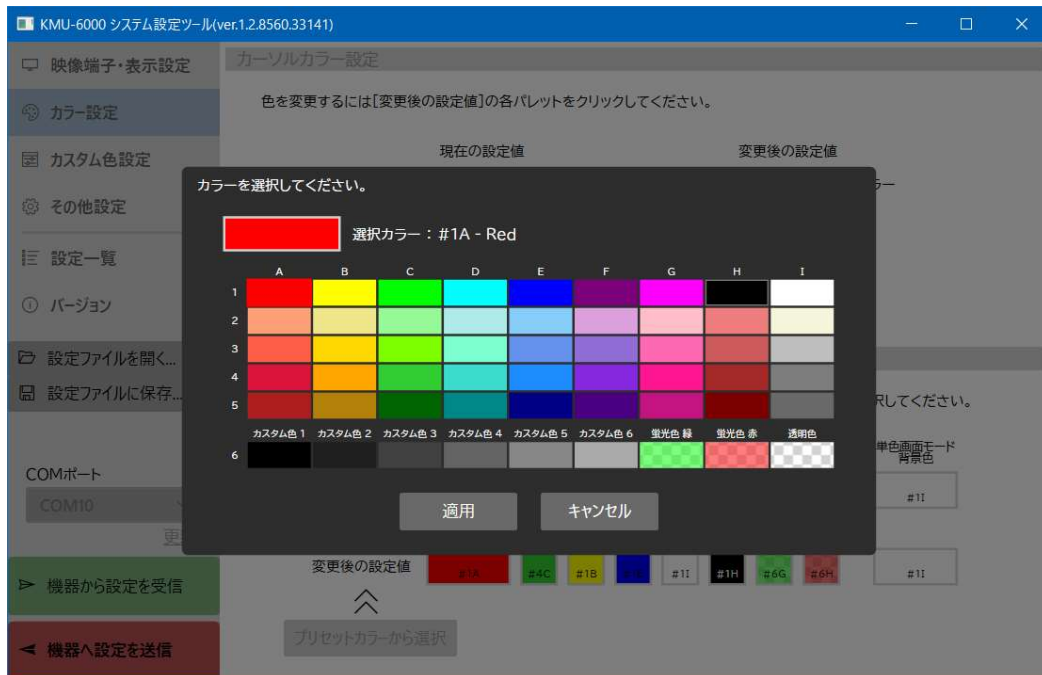
ップが表示されプリセット選択が行えます。



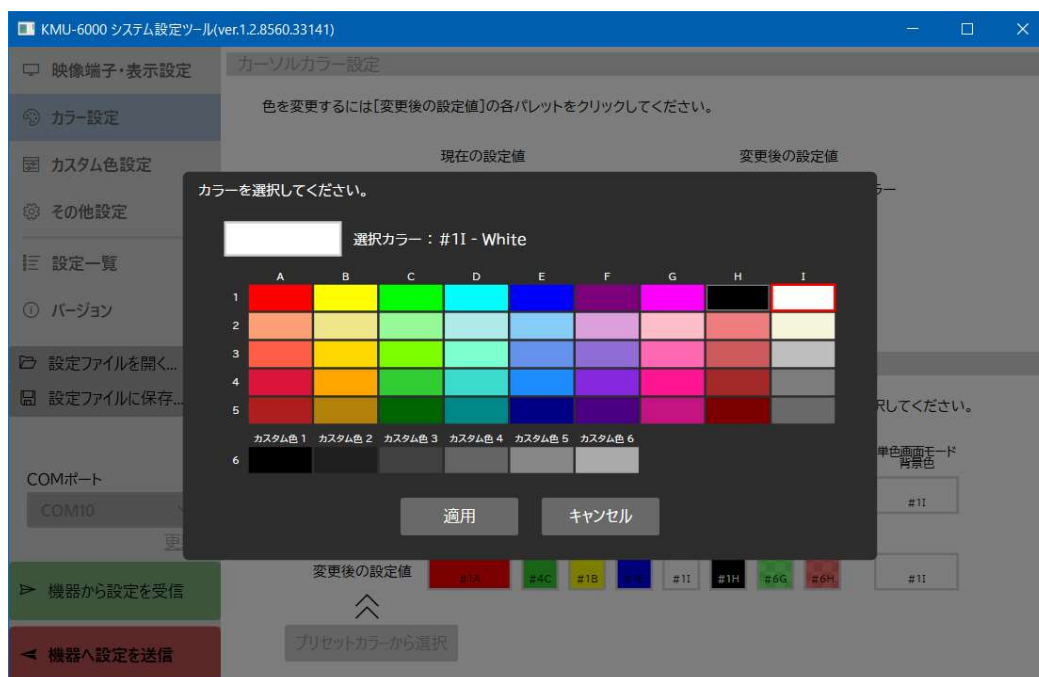
プリセットカラー一覧

初期カラー	KMU-6000 に初期設定されている色の組み合わせです。
パステルカラー	パステル調の色の組み合わせです。
ライトカラー	やや明るく軽い色の組み合わせです。
ビビッドカラー	鮮やかで強い色の組み合わせです。
ダークカラー	重厚で暗い色の組み合わせです。
カスタムカラー	カスタムカラーと蛍光色の組み合わせです。

カラーを設定するときは次のダイアログが表示されますので、設定したいカラーを選択してください。

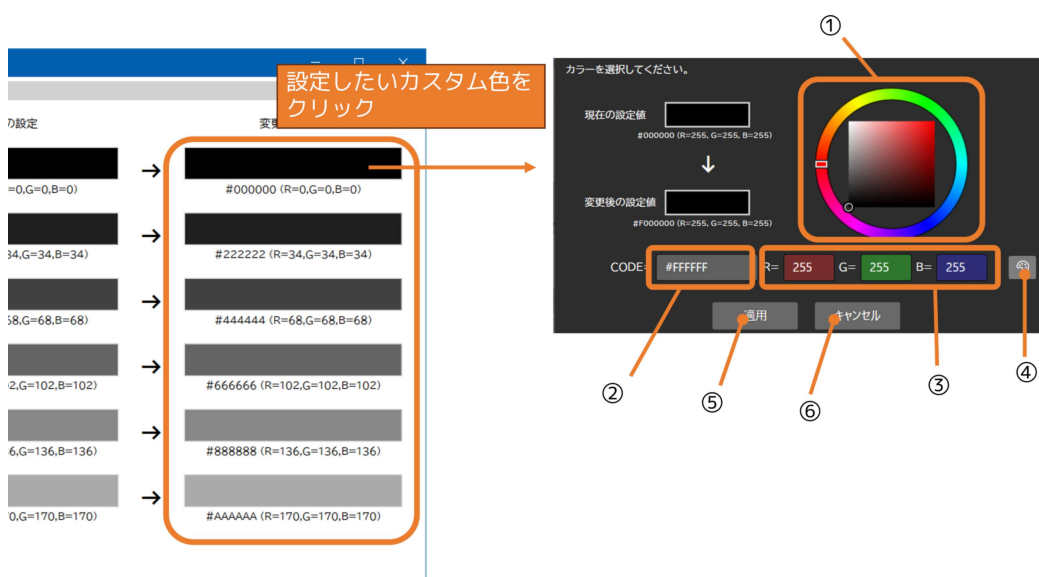
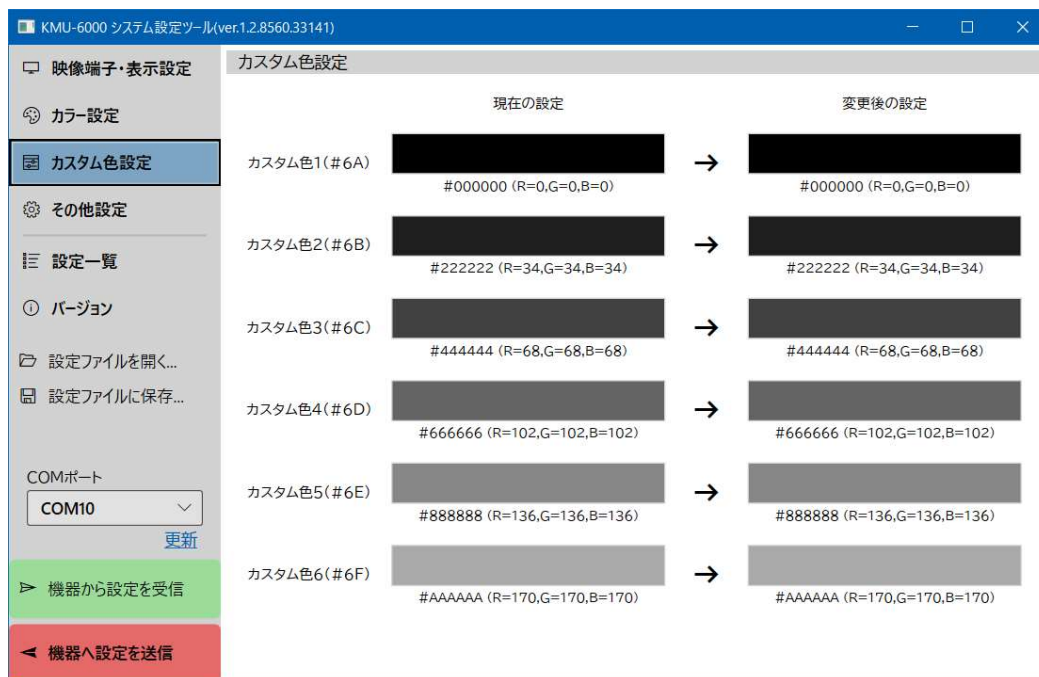


ただし、マウスカーソルのカラーと単色画面モードの背景色設定時は下図の通りとなり、蛍光色緑、蛍光色赤、および、透明色は選択できません。



カスタム色設定

カスタム色設定ではパレットやカーソルカラー、単色モード背景色で使えるカスタム色（最大6色）を約1677万色から指定して設定することができます。



- ①カラーサークル カラーサークルでは任意の色をクリック、または、ドラッグで選択できます。周りのサークルでカラーを選択し、中央部で明度、彩度を調整します。
- ②HTMLカラーコード 設定している色を HTML カラーコードで表したものです。ここで直接 HTML カラーコードを指定することもできます。
- ③RGBカラー値 RGBカラーの値（R、G、B それぞれ 0 ～ 255 の値）をあらわしたものです。ここで直接 RGB値を指定することもできます。
- ④色見本ボタン 色名からカラーを選択することができます。



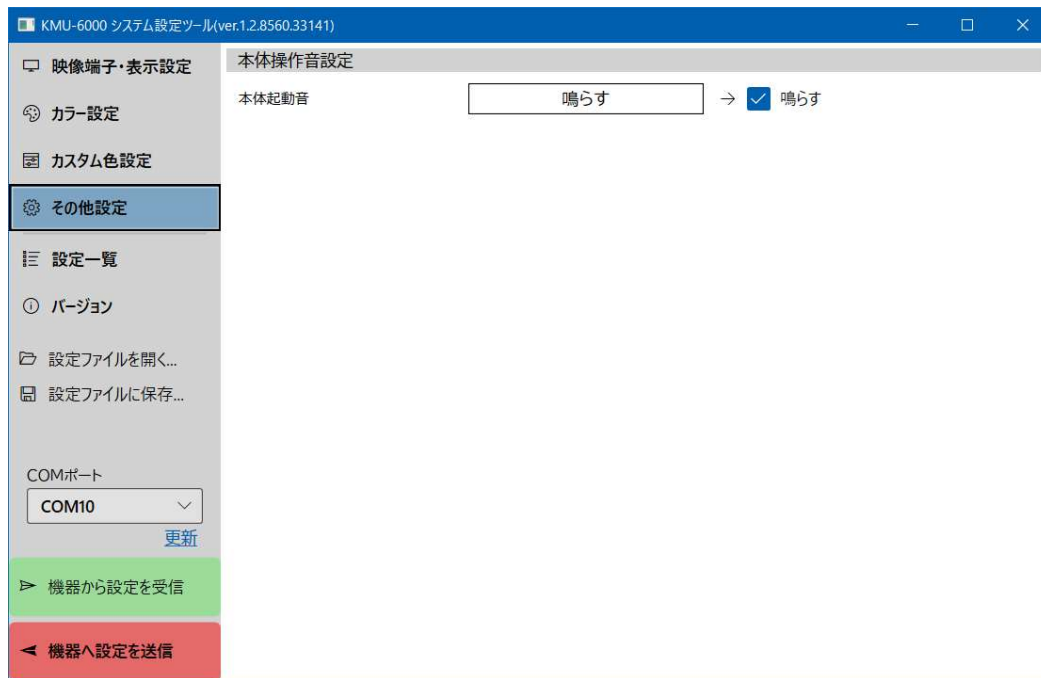
カラーの種類

プリセットカラー	カスタムカラーを使用しなくても選択できる KMU-6000 であらかじめ用意された色から探すことができます。
ウェブカラー	ウェブにおいて一般的な CSS で定義されている色名から色を探することができます。

⑤適用ボタン 選択した色をカスタムカラーとして適用します。

⑥キャンセルボタン 設定を適用せずに前の画面に戻ります。

その他設定

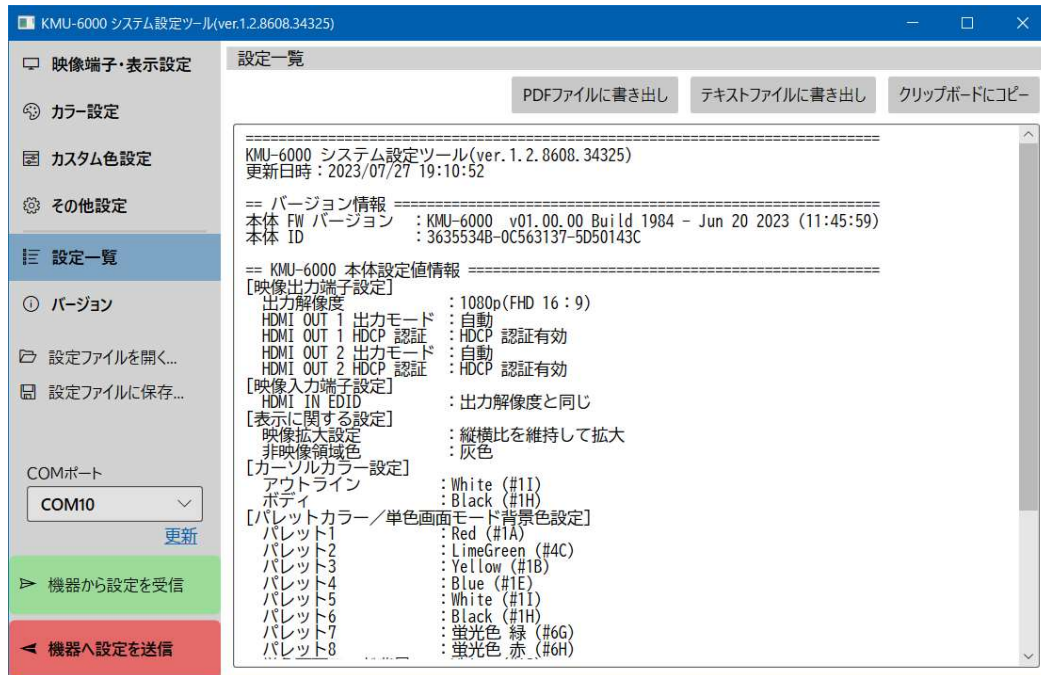


本体起動音

本体起動時に鳴る音の有無を設定することができます。

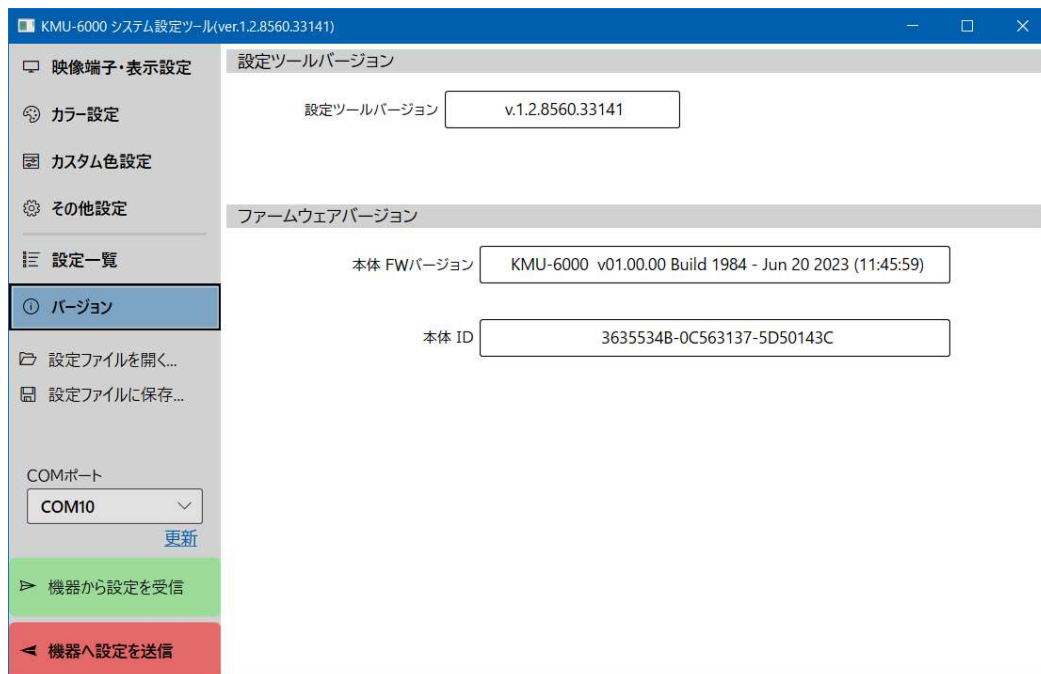
設定一覧

KMU-6000 に設定されている設定一覧を確認したり、設定一覧のテキストを pdf やテキストファイルに書き出すことができます。



バージョン

設定ツールのバージョン、および、KMU-6000 のファームウェアのバージョンや本体IDを確認することができます。



モードスイッチの設定

リアパネルの DIP-SW スイッチを設定することで本体の動作を設定することができます。

番号	モード名称	OFF時	ON時
1	480p 固定出力モード	無効	有効
2	ツールメニューの設定メニューボタン表示設定	表示する	表示しない
3～4	Reserved	OFF固定	—

 設定スイッチ 3 番～ 4 番は必ず OFF にしてください。

故障かな？と思ったときは

修理を依頼される前に必ず下記の項目を確認してください。これらの処置を行っても改善しないときや、下記にない症状が発生した場合は当社までお問い合わせください。

本体の電源が入らない



本体に付属の AC アダプタが正しく接続されていますか？

本体に付属の AC アダプタを端子奥までしっかりと接続してください。また、付属の AC アダプタ以外をご使用になられますと本体の故障や火災の原因となりますのでおやめください。

POWERスイッチはONになっていますか？

本機のPOWERスイッチをONにしてください。

映像表示機器（ディスプレイ）に映像が出ない



本機の電源は入っていますか？

本機の電源を入れてください。

ディスプレイの電源は入っていますか？

ディスプレイの電源を入れてください。

HDMIケーブルが正しく接続されていますか？

ディスプレイのHDMI入力端子とKMU-6000のOUTをHDMIケーブルで端子奥までしっかりと接続してください。

ディスプレイの入力切替が正しく行われていますか？

ディスプレイには複数の入力端子が存在する場合があります。ディスプレイの入力切替を確認してください。

HDMIケーブルが長すぎませんか？

HDMIケーブルを短いものに取り換えてください。また、本機とディスプレイの間に延長器などが入っている場合は取り除いてください。

HDMIケーブルは良品ですか？

HDMIケーブルを取り換えてください。

ディスプレイは故障していませんか？

ディスプレイを取り換えてください。

黒画面が表示され入力した映像が出ない



映像出力機器（P C、ブルーレイ等）の電源は入っていますか？

映像出力機器の電源を入れてください。

HDMIケーブルが正しく接続されていますか？

映像出力機器のHDMI出力端子とKMU-6000のINをHDMIケーブルで端子奥までしっかりと接続してください。

HDMIケーブルが長すぎませんか？

HDMIケーブルを短いものに取り換えてください。また、本機とディスプレイの間に延長器などが入っている場合は取り除いてください。

HDMIケーブルは良品ですか？

HDMIケーブルを取り換えてください。

映像出力機器の出力設定／解像度設定は正しいですか？

本機が受付できる入力映像は「[受付可能な映像タイミング](#)」の通りです。4 K映像やインターレース映像は入力できません。出力機器の設定を変更してください。

ディスプレイはHDCPに対応していますか？

HDCP対応のディスプレイを使用してください。入力した映像が著作権保護されていない場合（P C画面など）はメニューからHDCPをOFFにすることでHDCP非対応ディスプレイでも表示できます。（ただし、その場合著作権保護されている映像の場合は表示されません。）

HDCP認証がO Nになっていますか？

メニューからHDCP認証をONにしてください。

映像は出力されるが音が鳴らない



ディスプレイの音量がミュートになっていませんか？

ディスプレイのミュートを解除し音量を適切に設定して下さい。

ディスプレイにスピーカー機能はありますか？

スピーカー機能付きのディスプレイを接続してください。 外部スピーカーの場合は音声出力端子とスピーカーとの接続を確認してください。（詳しくは各接続機器の取扱説明書を確認してください。）

ディスプレイはHDMI対応ですか？

HDMI対応ディスプレイを接続してください。

映像出力機器と本機、または、本機とディスプレイの間に変換器や延長は入っていますか？

変換器、延長器によっては音声データに対応していない場合があります。本機とディスプレイの間に変換器、延長器などが入っている場合は取り除いてください。

入力した映像に音声がありますか？

映像に音声があることを確認してください。

周囲が切れて表示される



ディスプレイの設定は合っていますか？

HDMI信号の場合、ディスプレイによっては自動的にオーバー・スキャンすることがあります。ディスプレイの設定を変更してください。（詳しくはディスプレイの取扱説明書を確認してください。）

映像が点滅する、乱れる、色がおかしい



正しく接地されていますか？

本機付属のアース線で正しく接地を行ってください。

HDMIケーブルが正しく接続されていますか？

各映像機器とKMU-6000とをつなぐHDMIケーブルを端子奥までしっかりと接続してください。

HDMIケーブルが長すぎませんか？

HDMIケーブルを短いものに取り換えてください。また、本機と映像機器の間に延長器などが入っている場合は取り除いてください。

HDMIケーブルは良品ですか？

HDMIケーブルを取り換えてください。

映像表示機器（ディスプレイ）は故障していませんか？

映像表示機器（ディスプレイ）を取り換えてください。

マウスや液晶タブレットを使って描画ができない、パレットが表示されない、マウスカーソルが表示されない ▼

USBケーブルが正しく接続されていますか？

KMU-6000とをつなぐUSBケーブルを端子奥までしっかりと接続してください。

USBハブを経由して KMU-6000 とつないでいませんか？

本機と USB ハブを経由してマウス、および、液晶タブレットを接続することはできません。USB ハブを外してください。

ご覧になっているディスプレイが本機の HDMI OUT 1 に接続されていますか？

パレット、マウスカーソルは HDMI OUT 2 には表示されません。HDMI OUT 1 に接続してください。マウスカーソルは一定時間無操作状態が続くと一時的に非表示になります。また、液晶タブレットを使用しているときはマウスカーソルは表示されません。

パレットを非表示状態にしていませんか？

マウスをご使用の場合は右クリック、液晶ペンタブレットをご使用の場合はサイドスイッチ 1 を押して表示させてください。

非対応の液晶タブレットを接続していませんか？

本機で利用できる液晶タブレットはワコム社製の Wacom 社製 DTK-2451、DTK-1660E です。それ以外の型番、および、その他メーカー製の液晶タブレットはご使用いただけません。詳しくは

営業までお問い合わせください。

非対応のマウスを接続していませんか？

基本的に標準 HID のマウスであれば動作しますが、一部マウスは動作しないことがあります。付属のマウスをご使用ください。

USBケーブルは良品ですか？

USBケーブルを取り換えてください。

製品仕様



型番	KMU-6000
映像入力	HDMI/DVIコネクタ：HDMI Type A (19ピン)・メス：1系統 HDMI 1.4 HDCP 1.4 対応 対応フォーマット：480P、720P、1080P、XGA ～ WUXGA
映像出力	HDMI/DVIコネクタ：HDMI Type A (19ピン)・メス：2系統 HDMI 1.4 HDCP 1.4 対応 対応フォーマット：480P、720P、1080P、XGA ～ WUXGA
USBデバイス（PC接続用）	USB Bタイプ：1系統(V-COM)
外部コントロール端子	ミニDIN-8：1系統（RS-232C）
USBホスト （タブレット、マウス接続用）	USB Aタイプ：2系統
電源電圧	DC 12V/0.8A ※付属のアダプタ使用のこと
消費電力	10W 以下
外形寸法	幅 430mm × 奥行き 200mm × 高さ 44mm（突起物及びゴム足を含まない）
重量	2.5kg 以下
環境条件	温度 -5℃ ～ 50℃ 湿度 20% ～ 85%（結露なきこと）
付属品	ACアダプタ 1個 HDMIケーブル固定具 3セット アース線 1本 マウス 1個

外観及び仕様は、お断り無しに変更する場合があります。

オプション製品

HDMIケーブル（Ver1.4対応）コネクタ：タイプA×2



品番	型番
HDMIケーブル 1m	HDMI-MM-1
HDMIケーブル 2m	HDMI-MM-2
HDMIケーブル 3m	HDMI-MM-3
HDMIケーブル 5m	HDMI-MM-5

HDMI／DVI-D変換アダプタ（コネクタ：HDMIメス-DVI24ピンオス）



品番	型番
HDMI／DVI-D変換アダプタ	HDMI-DVI-FM

製品保証

本製品の保証期間はご購入日より1年間有効です。

保証規定については保証書に記載してあります。

保証書は、大切に保管してください。お問い合わせ時に必要な場合があります。

保証期間を経過した製品の保守、修理などは有償とさせていただきます。

修理のご案内

修理をご依頼の前に

症状によっては、お客様のお手元で解決する場合があります。また、どのように故障しているかの診断にもなりますので、まずは[こちら](#)をご確認ください。

修理のお申し込み

下記お問い合わせページから修理希望の旨お伝えください。修理可否、費用等のご案内をさせていただきます。

🔗 <https://www.round.ne.jp/contact.html>

修理品送付先

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄芝東3-9

株式会社ラウンド 製品修理センター 宛

TEL：0774-33-5282

お問い合わせ先

製品のご購入や製品に関するご質問は下記までお問い合わせください。

製品および各種見積お問い合わせ営業時間

10：00 ～ 17：45 ※土・日・祝祭日を除く

メールでお問い合わせいただく場合

メールでお問い合わせ頂く際は、下記URLのメールフォームをご利用ください。

📧 https://www.round.ne.jp/contact_mail.html

お電話でお問い合わせいただく場合

☎ **0774-33-5282** 弊社 営業部
(受付時間 10：00 ～ 17：45 ※土・日・祝祭日を除く)

FAXでお問い合わせいただく場合

必要事項をご記入の上、お送りください。ご記入内容を確認の上、ご回答いたします。

📠 **0774-33-5297**
(24時間受付 ※ご回答は営業時間内とさせていただきます。)

FAXでお問い合わせ頂く際は、下記URLの製品お問い合わせシートを印刷してご利用ください。

📎 https://www.round.ne.jp/files/request_form2.pdf

